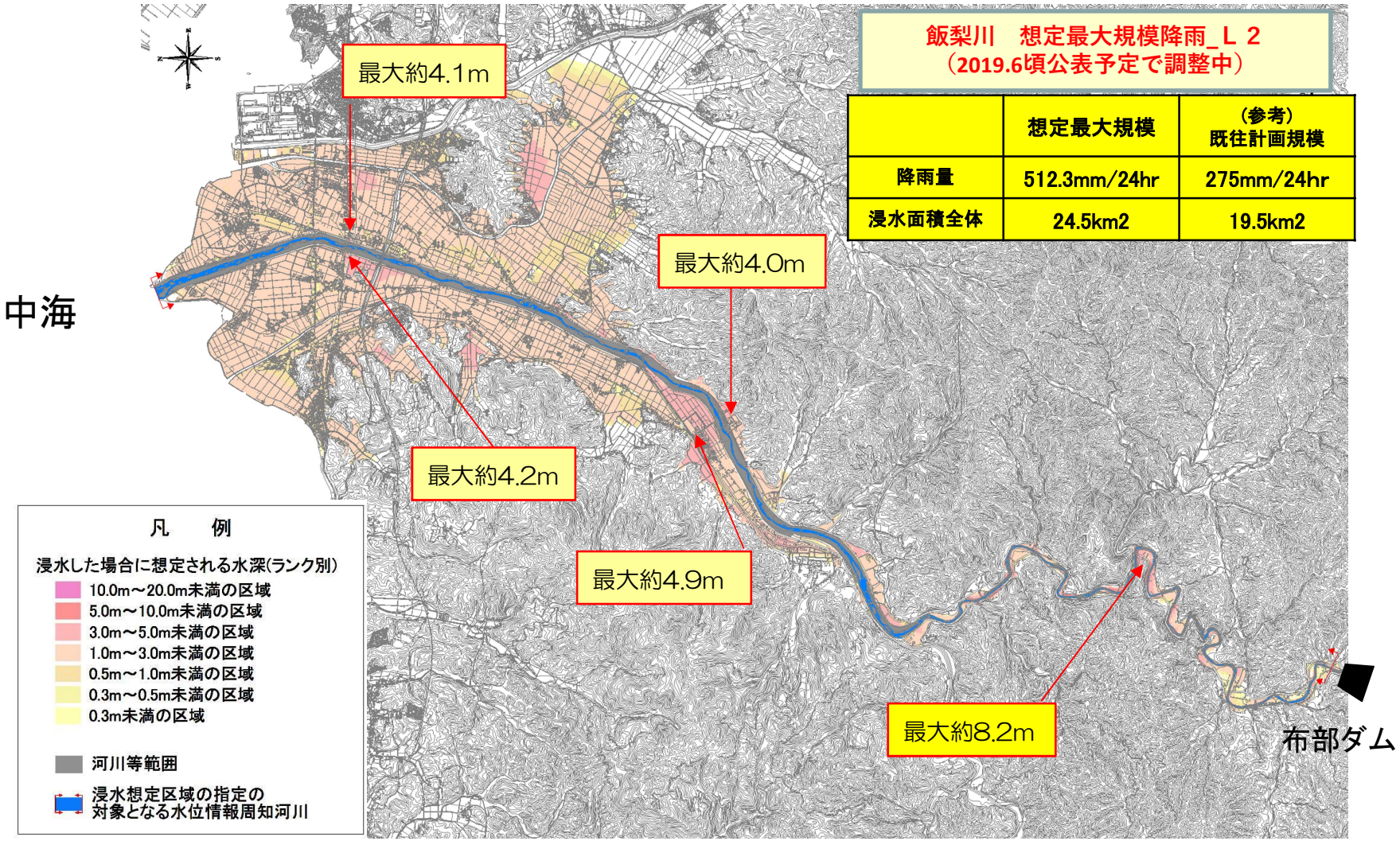
【資料１】

松江圏域
県管理河川に関する減災対策協議会
（フォローアップ）

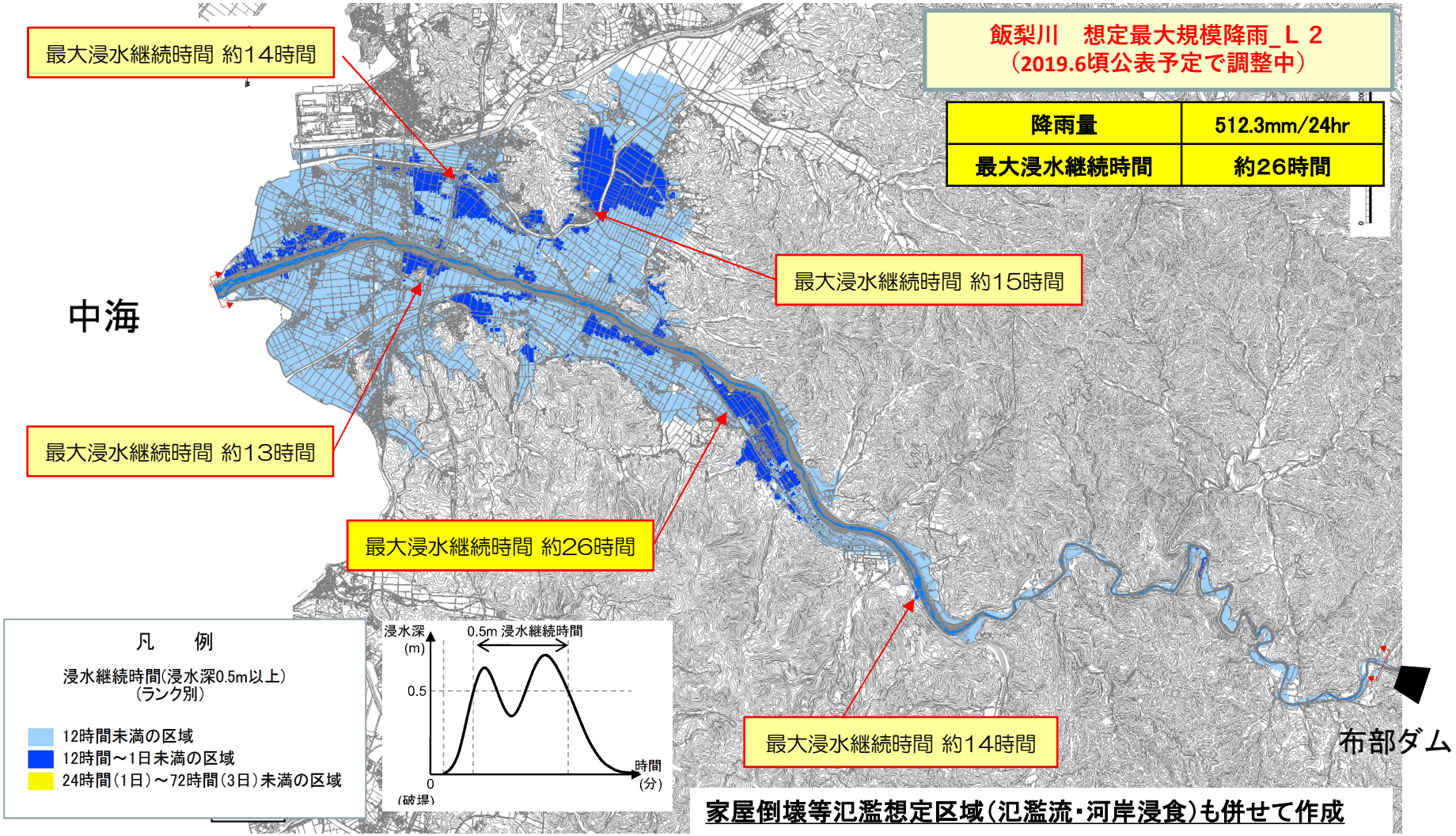
・平成29年度の実施状況
・平成30年度の実施状況
・平成31年度の実施予定

項　目	1．想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成・周知	
内　容	H29年度取組	意宇川の作成業務に着手（H29.7委託契約）
	H30年度取組	意宇川の作成【H30.5.25公表】 飯梨川、伯太川の作成業務に着手（H30.委託）
	H31年度予定	飯梨川、伯太川の作成【2019.6月頃公表予定で調整中】
取組機関	島根県	



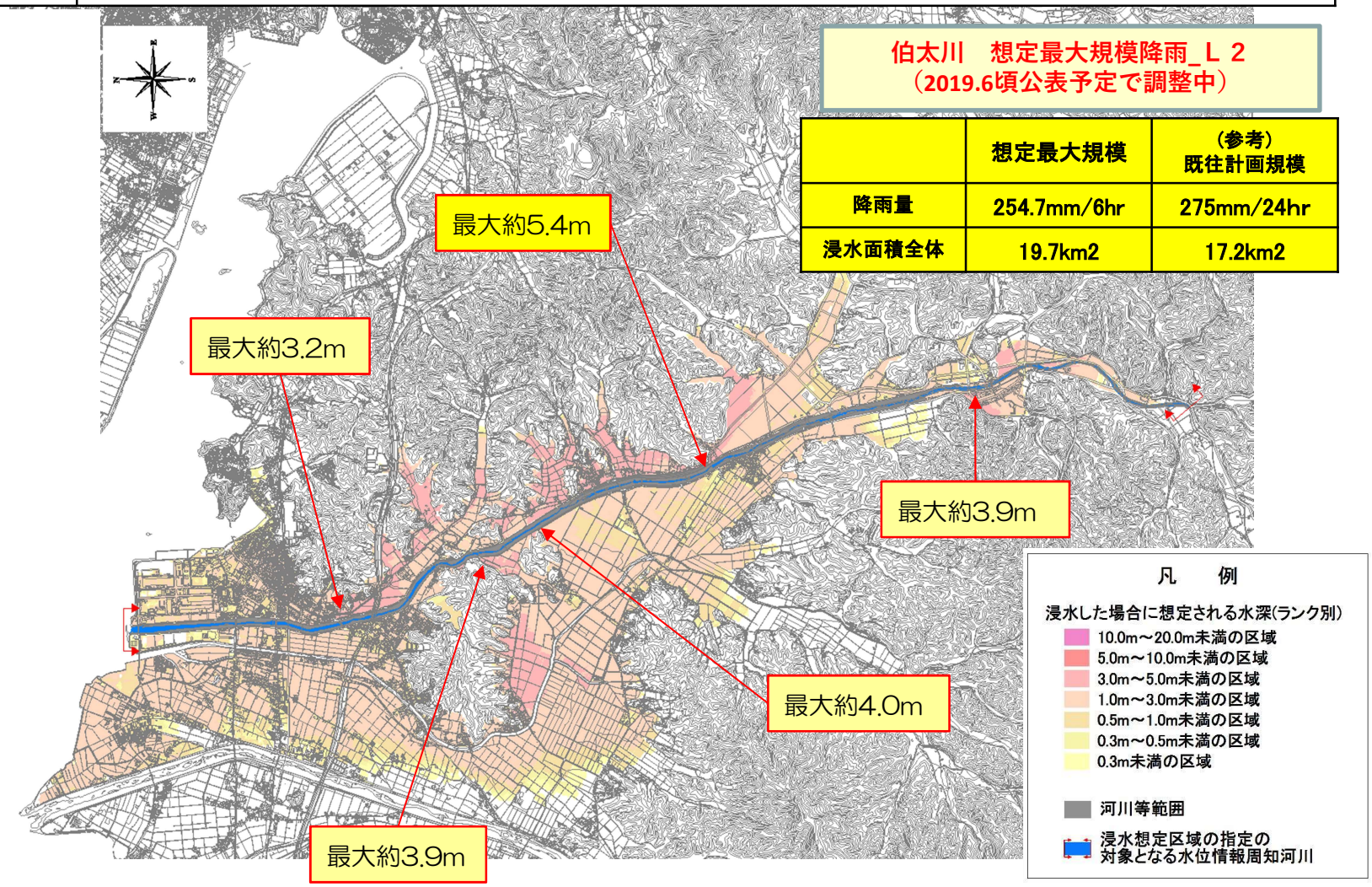
	想定最大規模	（参考） 既往計画規模
降雨量	512.3mm/24hr	275mm/24hr
浸水面積全体	24.5km2	19.5km2

項　目	1．想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成・周知	
内　容	H29年度取組	意宇川の作成業務に着手（H29.7委託契約）
	H30年度取組	意宇川の作成【H30.5.25公表】 飯梨川、伯太川の作成業務に着手（H30.委託）
	H31年度予定	飯梨川、伯太川の作成【2019.6月頃公表予定で調整中】
取組機関	島根県	



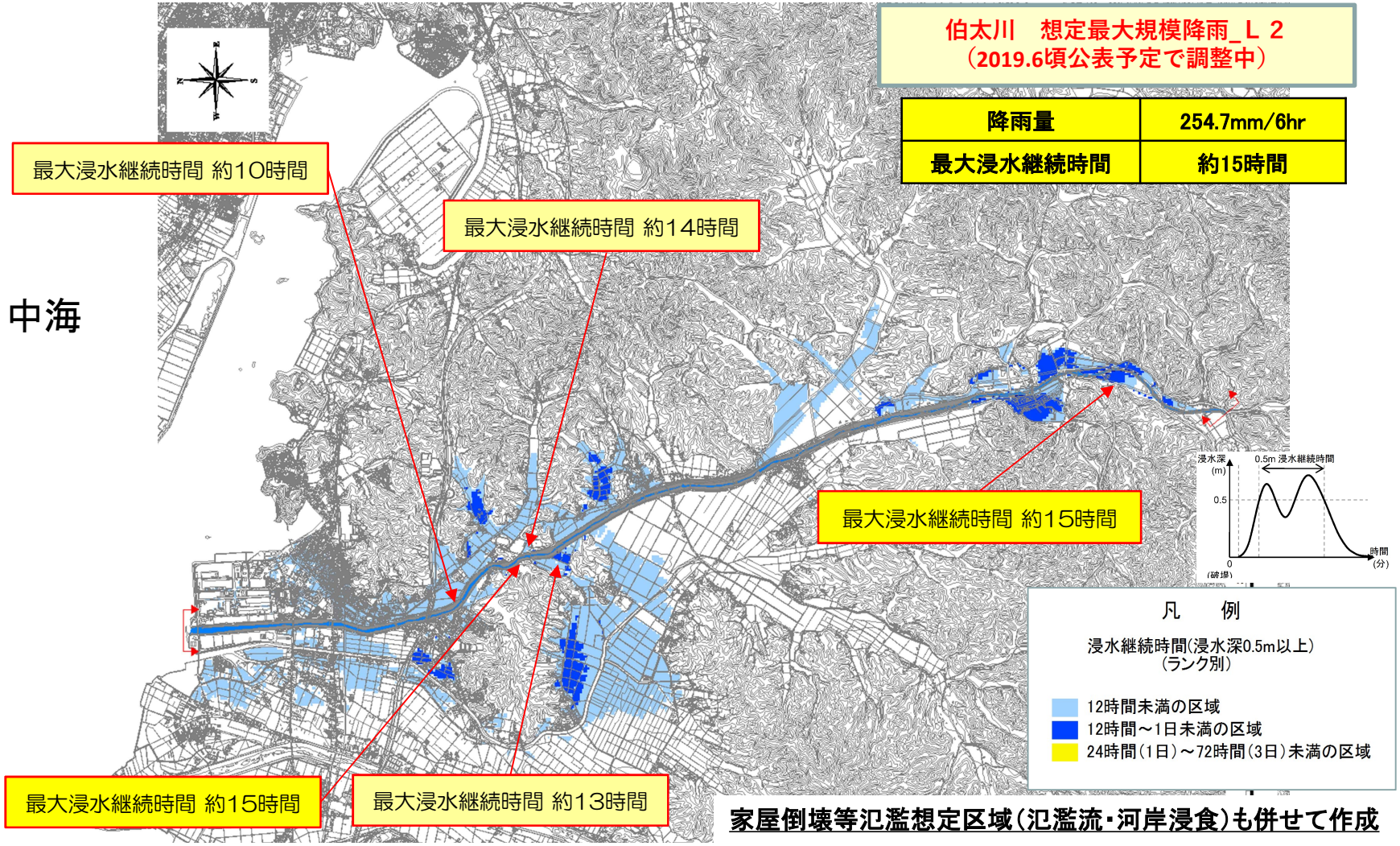
項　目	1．想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成・周知	
内　容	H29年度取組	意宇川の作成業務に着手（H29.7委託契約）
	H30年度取組	意宇川の作成【H30.5.25公表】 飯梨川、伯太川の作成業務に着手（H30.委託）
	H31年度予定	飯梨川、伯太川の作成【2019.6月頃公表予定で調整中】
取組機関	島根県	

中海



	想定最大規模	（参考） 既往計画規模
降雨量	254.7mm/6hr	275mm/24hr
浸水面積全体	19.7km2	17.2km2

項　目	1．想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成・周知	
内　容	H29年度取組	意宇川の作成業務に着手（H29.7委託契約）
	H30年度取組	意宇川の作成【H30.5.25公表】 飯梨川、伯太川の作成業務に着手（H30.委託）
	H31年度予定	飯梨川、伯太川の作成【2019.6月頃公表予定で調整中】
取組機関	島根県	



家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流・河岸浸食）も併せて作成

項　目	２．水害ハザードマップの改良・周知	
内　容	H29年度取組	既存ハザードマップの見方、利用方法など出前講座を通じて周知（松江市） 防災マップの更新（中海想定最大規模浸水想定区域）を完了（安来市）
	H30年度取組	水害ハザードマップの見直し、ハザードマップポータルサイトやマップonしまねを活用し、住民等へ広く周知（松江市） H30.4各戸配布実施、ハザードマップの活用方法など出前講座等を通じて周知（安来市）
	H31年度予定	ハザードマップ（防災ガイドブック）全戸配布予定（松江市） （安来市）
取組機関	松江市、安来市	

周知活動の状況（松江市）
朝酌小学校防災授業でのハザードマップ活用

周知活動の状況（安来市）
安来市広報誌「どげなかね」5月号

◀実際の防災マップ。福祉施設や学校等の避難所も確認できます。

新防災マップを活用ください

市は、国や県が想定する浸水・土砂災害警戒区域を反映した新しい防災マップを作成しました。今回の更新では、細かな地域分けとなり、さらに詳しくお住まいの地域の危険箇所等が確認できます。また、各家庭ごとの危険箇所や各種防災情報などを追加して有効に活用できるものになっています。

新マップは今月の広報紙に合わせて市内全戸へ配布されます。届きましたら一度は目を通してください。

項　目	2．水害ハザードマップの改良・周知	
内　容	H29年度取組	既存ハザードマップの見方、利用方法など出前講座を通じて周知（松江市） 防災マップの更新（中海想定最大規模浸水想定区域）を完了（安来市）
	H30年度取組	水害ハザードマップの見直し、ハザードマップポータルサイトやマップonしまねを活用し、住民等へ広く周知（松江市） H30.4各戸配布実施、ハザードマップの活用方法など出前講座等を通じて周知（安来市）
	H31年度予定	ハザードマップ（防災ガイドブック）全戸配布予定（松江市） （安来市）
取組機関	松江市、安来市	

ハザードマップ（防災ガイドブック）（松江市）

水害に備えて

松江市を流れる大橋川は、断面が小さいため宍道湖の水はけが悪く、一度洪水が起こると、宍道湖の水位がなかなか下がらず、洪水が長期間に及びます。

水害は、気象情報によりその襲来をある程度予測できますので、普段からの備えにより、被害を最小限にすることができます。

＼○○警報／

正しい情報

大雨に関する気象情報に注意しましょう

大雨によって災害が予想される場合には、気象庁から大雨に関する気象予報が発表されます。テレビ・ラジオなどで気象情報を入手して、災害の発生に備えましょう。

浸水のおそれがあるときは早めに避難をしましょう

- 川の水位が上昇して浸水のおそれがあるときや、市から避難勧告が出たときには、早目に安全な場所へ避難をしましょう。
- 浸水が始まってからでは、避難は困難になります。
- 水深が50cmを超えると、歩行は困難になります。
- 水深が浅くても、水路やマンホールなどへの転落の可能性があります。

洪水時の避難は…

水位の確認

歩ける深さは股下までです。無理をせず、高所で救助を待つのが安全です。

足元に注意をはらう

素足、長ぐつは禁物です。ひもでしめられる運動靴をはき、棒を杖がわりにして安全確認しましょう。

子供、お年寄りから目を離さない

はぐれないよう、お互いの身体をロープで結んで避難しましょう。

- 避難に自動車の使用は危険です。また、冠水した道路の通行は二次被害防止のため自粛しましょう。
- 下水道のふたを開けて、自宅敷地内にたまった水を排水することは絶対にしないでください。処理能力を超える水が流れ込み、処理場が機能しなくなるおそれがあります。

過去の水害

昔、斐伊川は直接日本海へ注いでいましたが、江戸時代に宍道湖へと流れを変え、それ以来松江の街は度重なる水害に見舞われてきました。

昭和に入ってからも主な水害だけでも６回、特に昭和47年７月の水害では約２万戸が浸水し、水が退くまでに１週間を要しています。

昭和47年 水害

昭和47年水害による浸水範囲は、島根県ホームページでご覧いただけます。
http://www.pref.shimane.lg.jp/kasen/shinsui/

昭和47年の水害では、松江市街地の広い範囲で浸水しました。地域で起きた過去の災害や特性を把握して、今後の防災対策に役立てましょう。

写真：国土交通省出雲河川事務所所有

平成18年7月 豪雨

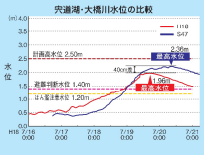
平成18年7月豪雨による浸水範囲は、島根県ホームページでご覧いただけます。
http://www.pref.shimane.lg.jp/kasen/shinsuikuiki/1807matue.html

平成18年７月15日から降り続いた雨は21日までに松江での総雨量が418mm、斐伊川流域の平均では378mmに達し、宍道湖（松江）の最高水位は7月19日、1.96mに上昇。この雨により、市内の各所で床上・床下浸水、土砂の崩落などの被害が発生しました。

昭和47年水害と平成18年７月豪雨の被害状況

区分	被害種別	昭和47年	平成18年
住家被害	床上浸水	5,900棟	212棟
	床下浸水	14,485棟	1,215棟
宍道湖（松江）の水位※		2.36m	1.96m
総雨量（斐伊川流域平均）		538mm	378mm

※宍道湖（松江）とは「松江水位観測所」のこと



浸水想定区域図

浸水想定区域図は、万が一洪水が起きたときに、浸水のおそれがある区域を市民の皆さんにあらかじめ周知をしておき、円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的に作成されています。

松江市に関係する浸水想定区域図として斐伊川流域（斐伊川、宍道湖・大橋川・中海、境水道）、来待川、意宇川があり、国土交通省及び島根県より公表されています。

各家庭に配布したハザードマップには、この浸水想定区域を記載していますので、ご自宅の周辺に大雨時にどのような危険があるのかを確認しておきましょう。

松江市及び周辺の河川の状況

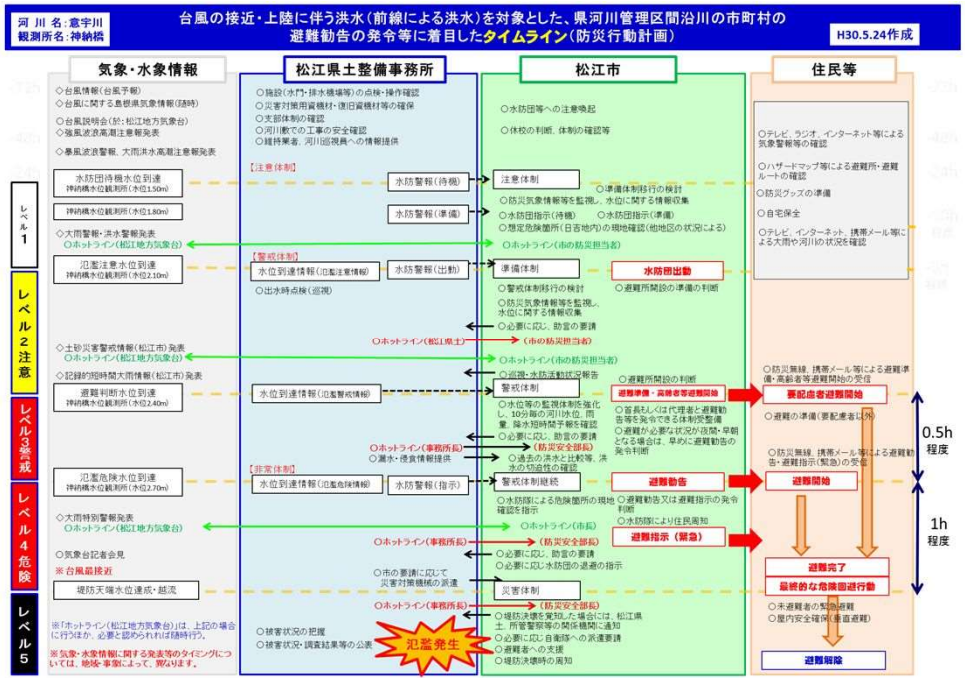
浸水想定区域図の想定条件

- **斐伊川流域**（斐伊川、宍道湖・大橋川・中海、境水道）
  概ね150年に1回程度起こる大雨が降ったことにより、斐伊川（斐伊川、宍道湖・大橋川・中海、境水道）がはん濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
  斐伊川流域の2日間総雨量399mmになった場合が想定されています。
  国土交通省出雲河川事務所のホームページで見ることができます。
  http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/01_bosai/sinnsui/cont_index.html
- **来待川**
  概ね30年に1回程度起こる大雨が降ったことにより、来待川がはん濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
  来待川の流域全体で、ピーク時の1時間に78mmの雨量があった場合が想定されています。
- **意宇川**
  概ね50年に1回程度起こる大雨が降ったことにより、意宇川がはん濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
  意宇川の流域全体で、1日の総雨量363mm、ピーク時の1時間に77.4mmの雨量があった場合が想定されています。
  島根県のホームページで見ることができます。
  http://www.pref.shimane.lg.jp/kasen/sinsuisoutei/

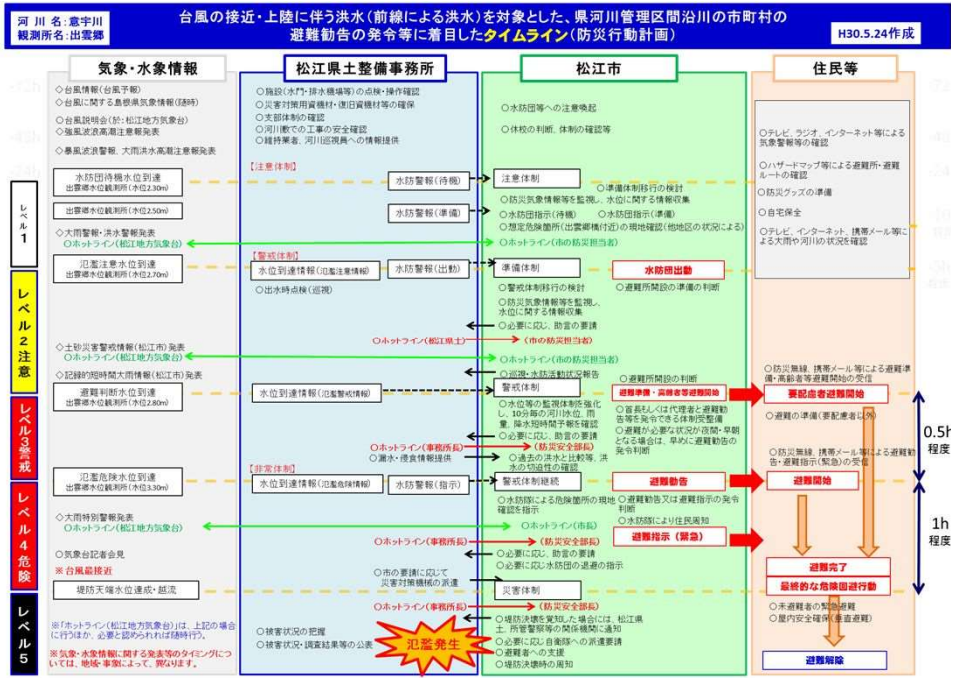
なお、シミュレーションにあたっては、支派川のはん濫、想定を超える降雨、高潮、波浪、内水によるはん濫などを考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

項　目	３．避難勧告等の発令に着目した水害対応タイムラインの策定	
内　容	H29年度取組	洪水予報河川・水位周知河川で水害対応タイムラインを作成に着手
	H30年度取組	関係機関で水害対応ﾀｲﾑﾗｲﾝ、ﾁｪｯｸﾘｽﾄ等の情報を共有。　実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直し。
	H31年度予定	関係機関で水害対応ﾀｲﾑﾗｲﾝ、ﾁｪｯｸﾘｽﾄ等の情報を共有。　実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直し。（協議会全体） タイムラインの実災害における検証（松江市）
取組機関	協議会全体	

意宇川 【神納橋観測所】

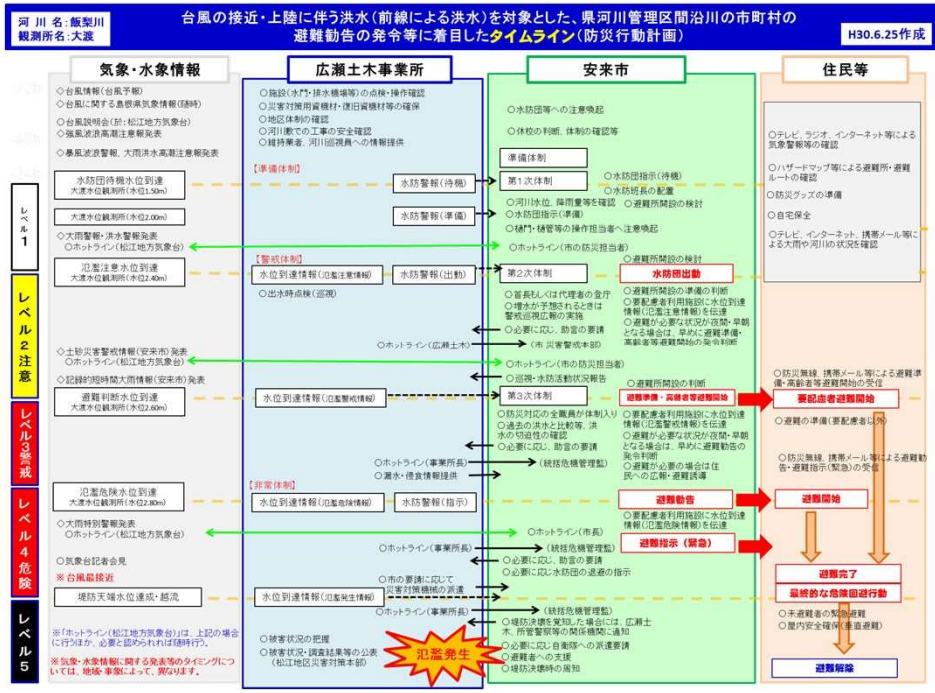


意宇川 【出雲郷観測所】

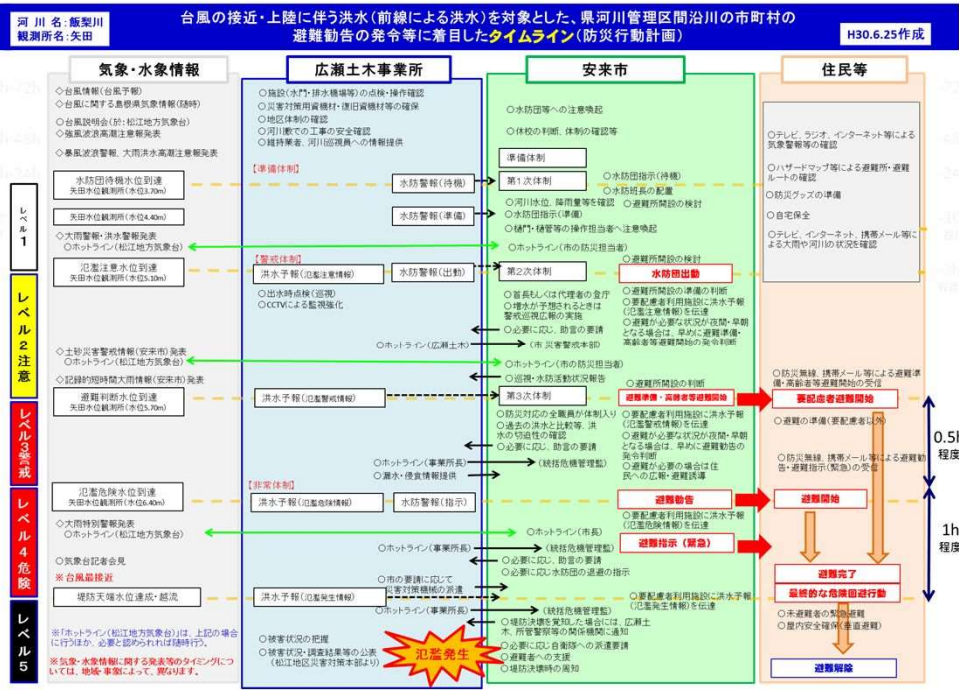


項　目	３．避難勧告等の発令に着目した水害対応タイムラインの策定	
内　容	H29年度取組	洪水予報河川・水位周知河川で水害対応タイムラインを作成に着手
	H30年度取組	関係機関で水害対応ﾀｲﾑﾗｲﾝ、ﾁｪｯｸﾘｽﾄ等の情報を共有。　実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直し。
	H31年度予定	関係機関で水害対応ﾀｲﾑﾗｲﾝ、ﾁｪｯｸﾘｽﾄ等の情報を共有。　実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直し。（協議会全体） タイムラインの実災害における検証（松江市）
取組機関	協議会全体	

飯梨川 【大渡観測所】

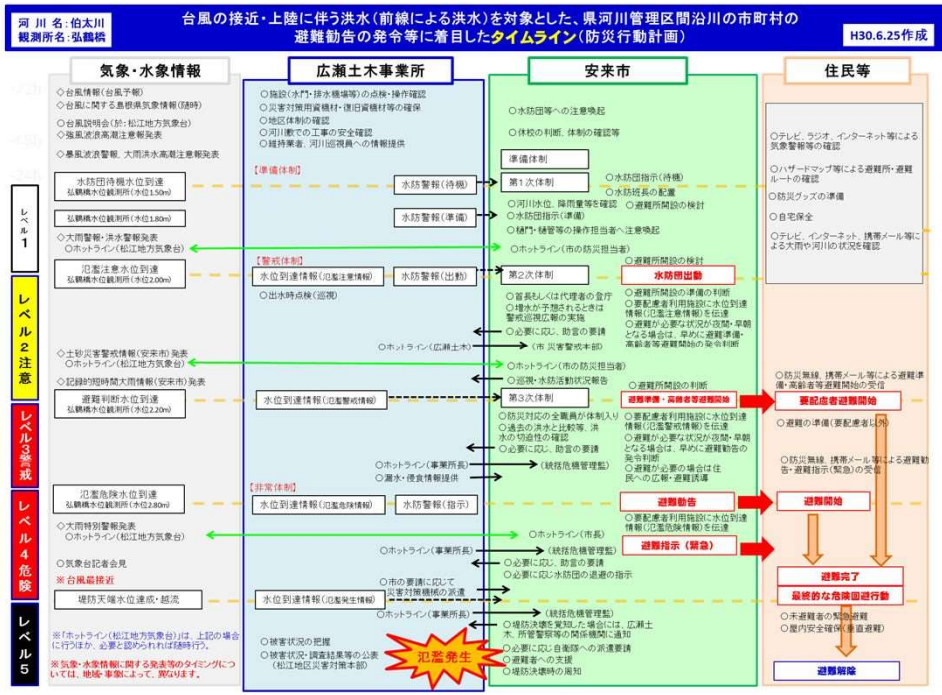


飯梨川 【矢田観測所】

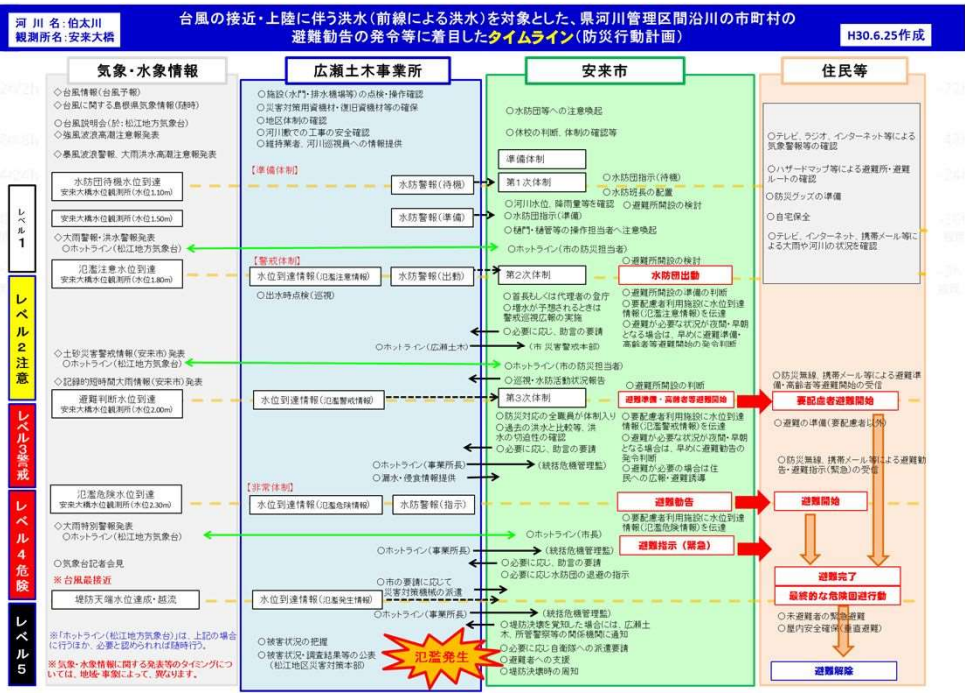


項　目	３．避難勧告等の発令に着目した水害対応タイムラインの策定	
内　容	H29年度取組	洪水予報河川・水位周知河川で水害対応タイムラインを作成に着手
	H30年度取組	関係機関で水害対応ﾀｲﾑﾗｲﾝ、ﾁｪｯｸﾘｽﾄ等の情報を共有。　実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直し。
	H31年度予定	関係機関で水害対応ﾀｲﾑﾗｲﾝ、ﾁｪｯｸﾘｽﾄ等の情報を共有。　実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直し。（協議会全体） タイムラインの実災害における検証（松江市）
取組機関	協議会全体	

伯太川 【弘鶴橋観測所】



伯太川 【安来大橋観測所】



参考資料

水害対応タイムライン策定効果の検証

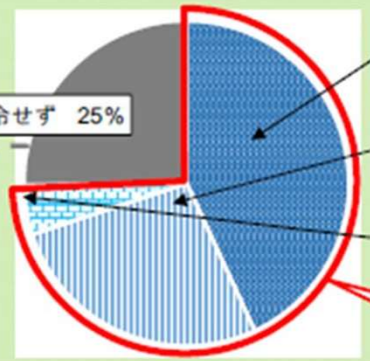
国土交通省

○ 今年の出水で氾濫危険水位を超過した河川がある市町村（延べ451市町村）を対象に、タイムラインの策定状況と「避難勧告等の発令」及び「市町村の体制構築」がスムーズに行えたかどうか、聞き取り調査を実施
○ タイムライン策定市町村では、迅速な避難情報の提供だけでなく、順調な体制構築・対応にも効果を発揮
○ 今後、タイムラインの策定・活用を促すと共に、シナリオにとらわれない柔軟な対応ができるよう通知予定

避難勧告等の発令状況

策定済み市町村（123市町村）

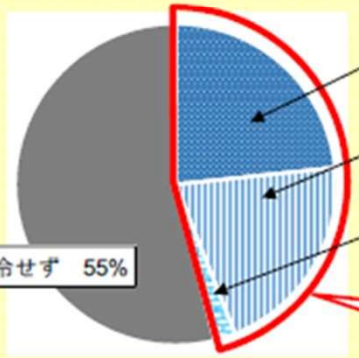
（対象市町村）
国管理河川：93
都道府県管理河川：30



- 氾濫危険水位到達前に避難勧告を発令　43%
- 氾濫危険水位到達後に避難勧告を発令　27%
- 避難勧告を飛ばして避難指示を発令　5%
- 避難勧告または避難指示を発令　75%

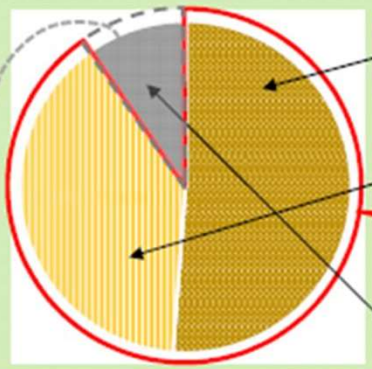
未策定の市町村（330市町村）

（対象市町村）
都道府県管理河川：330



- 氾濫危険水位到達前に避難勧告を発令　23%
- 氾濫危険水位到達後に避難勧告を発令　20%
- 避難勧告を飛ばして避難指示を発令　2%
- 避難勧告または避難指示を発令　45%

出水時の市町村の体制構築状況



- 気象・水位等に応じて順調に対応できた　51%
- 一部課題が残るが概ね順調に対応　39%
- 90%が概ね良好な対応ができた
- 対応が後手に回るなど課題が多い状況だった　10%

【避難勧告等を発令しなかった理由】
・氾濫危険水位到達時に、すぐに水位が横ばい・下降傾向になることが予想できた。
（降雨状況・潮位・上流観測所水位・水位予測情報・巡視員の現地からの情報・ホットライン等から判断したケースがある）

【体制構築が上手くいかなかった理由等】
・実災害での活用が初めてで、タイムラインの手順を上手く追えなかった。
・タイムラインで想定していたものとは異なるタイプ（本川ではなく支川の氾濫）の出水だったため、対応が上手くいかなかった。
・タイムラインを作成したものの、庁内への周知が上手くいっておらず、従来のマニュアル等で運用した。
⇒タイムラインの想定シナリオにとらわれず柔軟に対応するよう通知予定

※市町村数は全て“延べ数”で、複数の出水が発生した場合は同じ市町村でも複数扱い
※国管理河川だけでなく、都道府県管理河川におけるタイムラインを有する市町村も含む

項　目	４．洪水時における河川管理者からの情報提供（ホットラインの定着）	
内　容	H29年度取組	情報伝達演習の実施【H29.4.28】、実洪水でのホットライン【H29.9.17】
	H30年度取組	情報伝達演習の実施【H30.4.25】、防災訓練でのホットラインの実施【H30.6.20】、実洪水でのホットライン【H30.9.30】
	H31年度予定	情報伝達演習においてホットラインを実施し、連絡体制の定着図る。（松江市、安来市、松江地方気象台、島根県）
取組機関	松江市、安来市、松江地方気象台、島根県	

河川に関する情報伝達演習　（H30..4.25）

▶

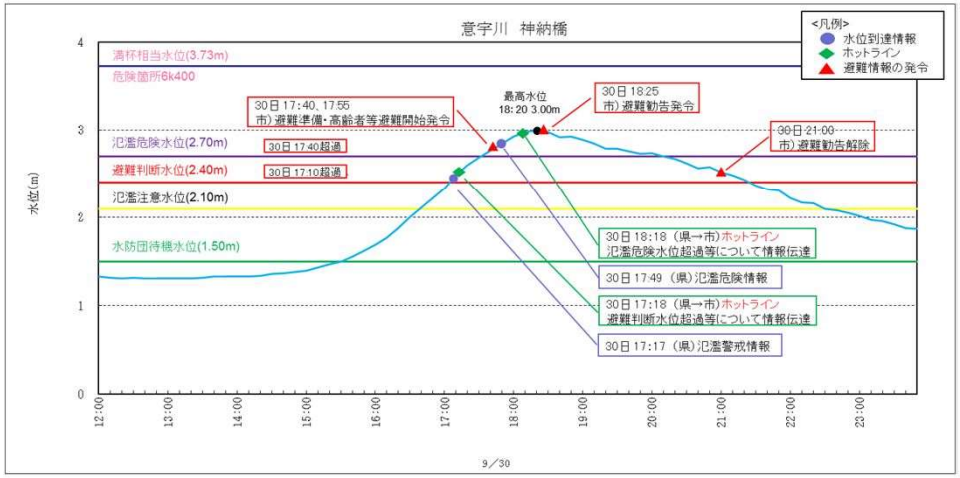
ホットラインを含めた情報伝達演習の実施（H31.4.25）

実洪水におけるホットライン実施　（H30.9.30）

▼実洪水でのホットライン（意宇川）

平成30年9月30日　台風24号

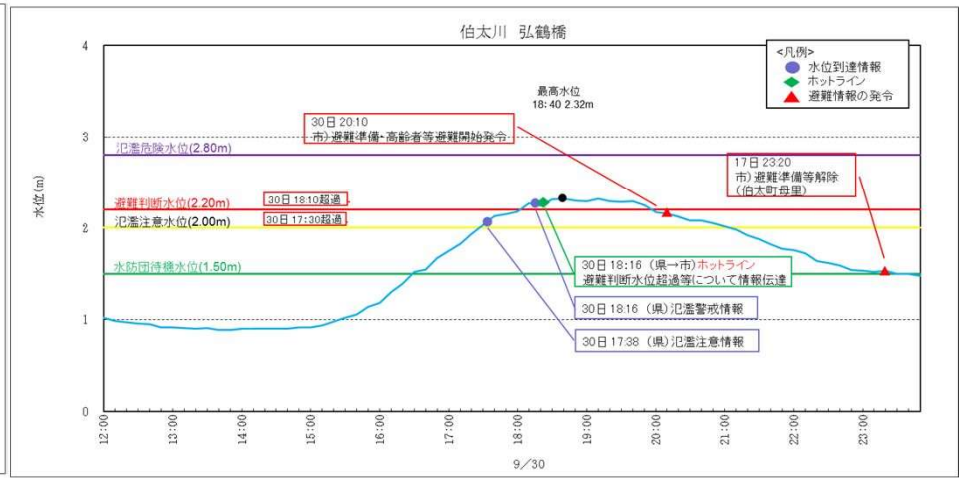
意宇川における水位とホットライン（情報伝達）・避難勧告等　神納橋観測所（河口より6k500）



▼実洪水でのホットライン（伯太川）

平成30年9月30日　台風24号

伯太川における水位とホットライン（情報伝達）・避難勧告等　弘鶴橋観測所（河口より10k900）



項　目	５．避難勧告等の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実	
内　容	H29年度取組	次期水防情報システム開発に着手（島根県）
	H30年度取組	次期水防情報システム開発実施（島根県） 大雨警報、注意報（浸水）について新基準での運用開始、降水短時間予想を現行の６時間先から１５時間先へ延長（松江地方気象台）
	H31年度予定	次期水防情報システムの運用開始、雨量計、水位計等の更新に着手（島根県） 警報、注意報の基準について評価及び検証を行い、必要に応じて基準の見直しを行う（松江地方気象台）
取組機関	松江地方気象台、島根県	

【次期システムのポイント】

①スマートフォン用サイト追加

スマートフォン画面の特徴

・スマートフォンの画面サイズに適した画面構成で情報を提供

・地図の拡大・縮小が可能
⇒見たい場所をすぐに見られる

・GPS機能で自分の場所を表示できる
⇒周辺の危険な箇所を確認できる

水位状況表

河川監視カメラ情報

②画面構成の改善

利用しやすく、見やすい画面構成

・地図や表などを用い、危険度状況に応じてアイコン等を着色することで視覚的に危険状況が確認できる

・上と横にタブを設けて、見たい画面への移動が簡単にできる

県内の状況が直感的に把握できるトップページ画面

③提供する情報内容の充実

河川監視カメラ情報

視覚的に水位状況の変化を把握できる

過去の画像を並べて表示し水位変化が把握できる

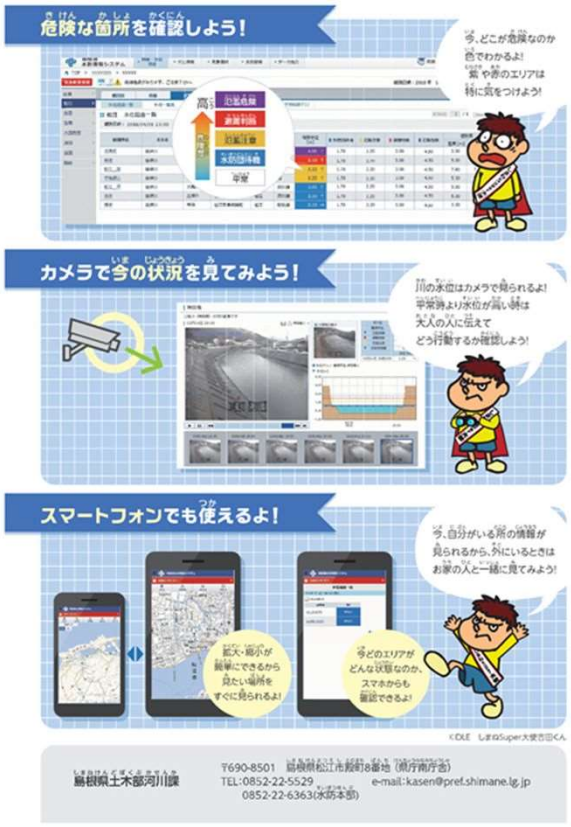
危険度レベルに応じた一覧表示

水位の危険度レベルに応じて着色をし、危険度が高い観測局から並べて表示することで、危険箇所の把握が容易にできる。

項　目	５．避難勧告等の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実	
内　容	H29年度取組	次期水防情報システム開発に着手（島根県）
	H30年度取組	次期水防情報システム開発実施（島根県） 大雨警報、注意報（浸水）について新基準での運用開始、降水短時間予想を現行の６時間先から１５時間先へ延長（松江地方気象台）
	H31年度予定	次期水防情報システムの運用開始、雨量計、水位計等の更新に着手（島根県） 警報、注意報の基準について評価及び検証を行い、必要に応じて基準の見直しを行う（松江地方気象台）
取組機関	松江地方気象台、島根県	

○水防情報システムの周知を図るためパンフレットを作成（一般向けと小学生向けの２種類）

小学生向けパンフレット



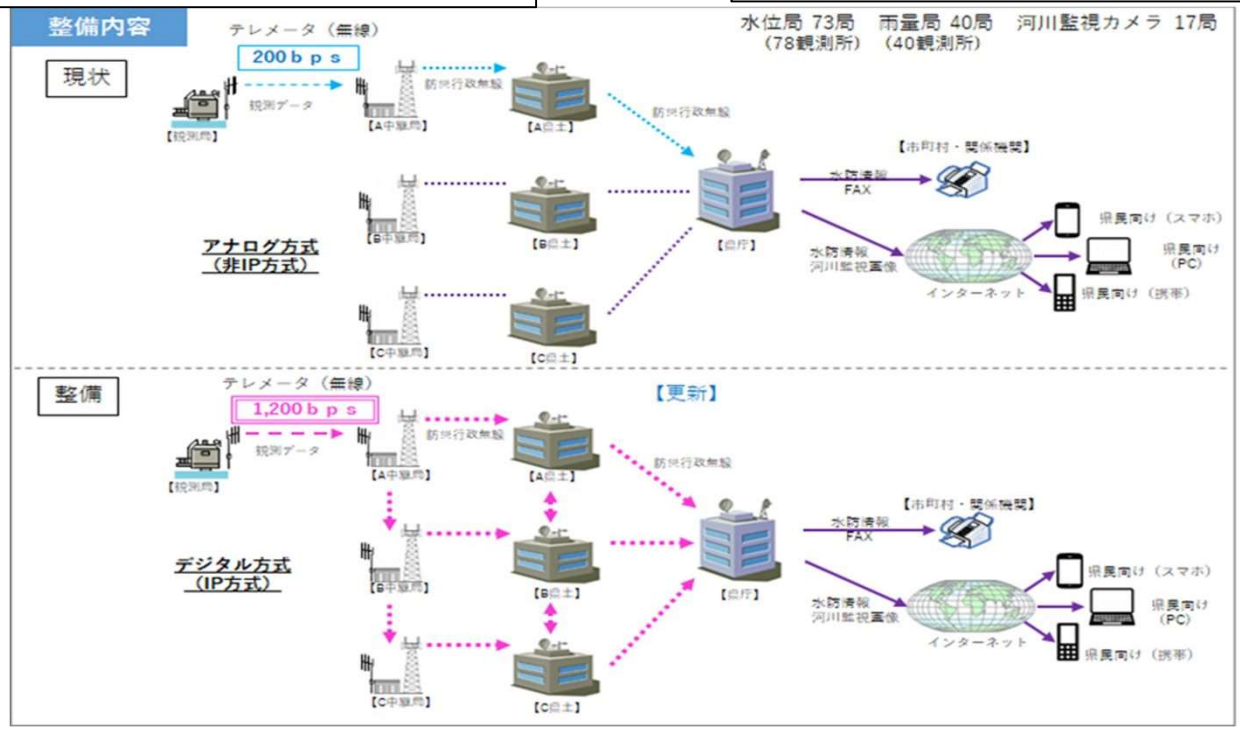
項　目	５．避難勧告等の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実	
内　容	H29年度取組	次期水防情報システム開発に着手（島根県）
	H30年度取組	次期水防情報システム開発実施（島根県） 大雨警報、注意報（浸水）について新基準での運用開始、降水短時間予想を現行の６時間先から１５時間先へ延長（松江地方気象台）
	H31年度予定	次期水防情報システムの運用開始、雨量計、水位計等の更新に着手（島根県） 警報、注意報の基準について評価及び検証を行い、必要に応じて基準の見直しを行う（松江地方気象台）
取組機関	松江地方気象台、島根県	

◆雨量計・水位計の更新

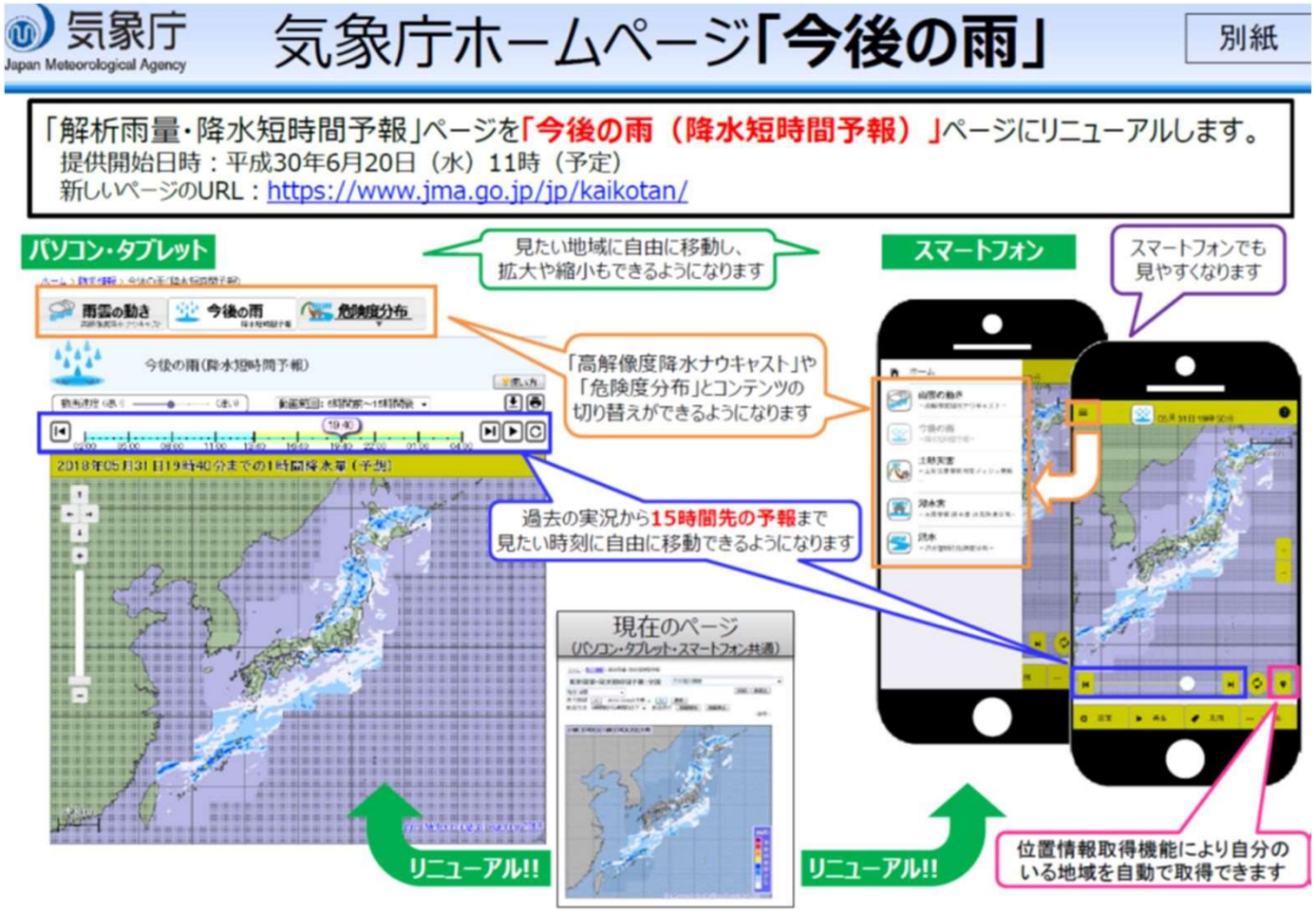
現状
◆観測施設の老朽化に伴う通信異常
　雨量計・水位計整備　Ｈ８年度から順次整備
　河川監視カメラ施設　Ｈ13年度から順次整備

更新

整備
・観測施設更新による確実な情報の提供
・ＩＰ方式移行による通信性能の向上
　〔通信の冗長化・高速化〕



項　目	５．避難勧告等の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実	
内　容	H29年度取組	次期水防情報システム開発に着手（島根県）
	H30年度取組	次期水防情報システム開発実施（島根県） 大雨警報、注意報（浸水）について新基準での運用開始、降水短時間予想を現行の６時間先から１５時間先へ延長（松江地方気象台）
	H31年度予定	次期水防情報システムの運用開始、雨量計、水位計等の更新に着手（島根県） 警報、注意報の基準について評価及び検証を行い、必要に応じて基準の見直しを行う（松江地方気象台）
取組機関	松江地方気象台、島根県	



項　目	6．水害リスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	
内　容	H29年度取組	―
	H30年度取組	島根県／危機管理型水位計の整備〔松江市：北田川、安来市：伯太川〕 水位表示板の整備〔意宇川〕 松江市／河川カメラの整備
	H31年度予定	島根県／河川監視カメラの整備〔松江市：意宇川、安来市：伯太川〕
取組機関	島根県、（松江市、安来市）	

危機管理型水位計の整備（H31.3.20運用開始）

北田川（松江市春日町：高梨眼科付近）

接触式水位計

伯太川（安来市吉岡町：吉岡橋）

非接触式水位計

・洪水時に川の水位観測をおこなう機器です。
・「川の水位情報」サイトで水位が確認できます。

川の水位情報
（危機管理型水位計）

URL：https://k.river.go.jp/

管理者：島根県土木部河川課
連絡先：０８５２－２２－５５２９

項　目	６．水害リスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	
内　容	H29年度取組	―
	H30年度取組	島根県／危機管理型水位計の整備〔松江市：北田川、安来市：伯太川〕 水位表示板の整備〔意宇川〕 松江市／河川カメラの整備
	H31年度予定	島根県／河川監視カメラの整備〔松江市：意宇川、安来市：伯太川〕
取組機関	島根県、（松江市、安来市）	

危機管理型水位計の閲覧方法

川の水位情報（危機管理型水位計）

３つの主な機能

観測所の一覧画面から観測地点を選択すると自動でズームし、その観測地点の河川水位を簡単にみられます。

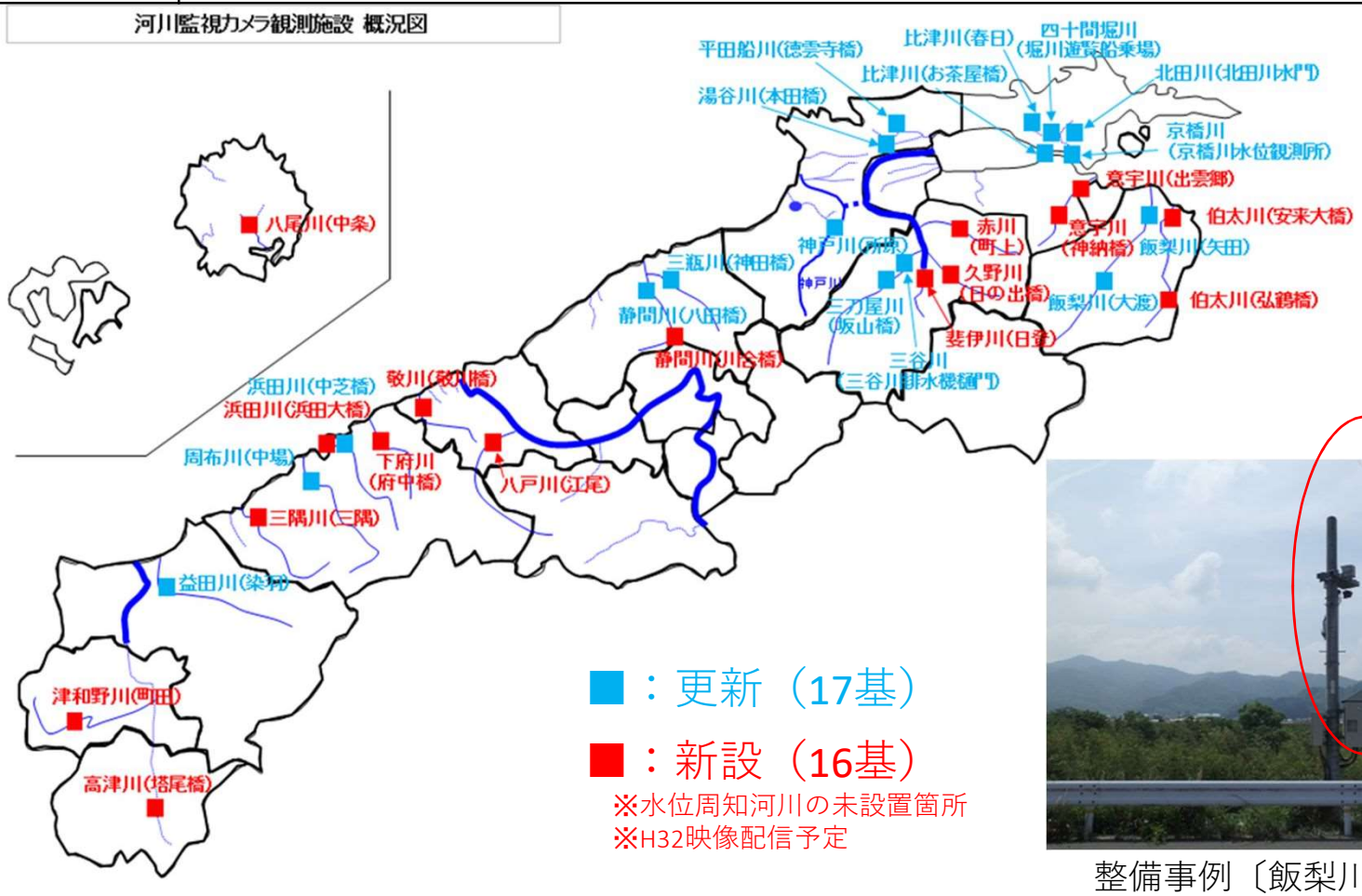
河川周辺の土地の高さとリアルタイムの河川水位が重ねて表示され、氾濫した場合の危険度がわかります。

リアルタイムの河川水位に対応して表示の色が変化し、氾濫の危険度がわかります。

スライドさせて周辺の土地の高さを見れます。

項　目	６．水害リスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	
内　容	H29年度取組	―
	H30年度取組	島根県／危機管理型水位計の整備〔松江市：北田川、安来市：伯太川〕 水位表示板の整備〔意宇川〕 松江市／河川カメラの整備
	H31年度予定	島根県／河川監視カメラの整備〔松江市：意宇川、安来市：伯太川〕
取組機関	島根県、（松江市、安来市）	

河川監視カメラ観測施設 概況図



■：更新（17基）

■：新設（16基）

※水位周知河川の未設置箇所

※H32映像配信予定

整備事例〔飯梨川（矢田）〕

項　目	６．水害リスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	
内　容	H29年度取組	―
	H30年度取組	島根県／危機管理型水位計の整備〔松江市：北田川、安来市：伯太川〕 水位表示板の整備〔意宇川〕 松江市／河川カメラの整備
	H31年度予定	島根県／河川監視カメラの整備〔松江市：意宇川、安来市：伯太川〕
取組機関	島根県、（松江市、安来市）	

水位表示板の整備（出雲郷観測所）

項　目	６．水害リスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	
内　容	H29年度取組	―
	H30年度取組	島根県／危機管理型水位計の整備〔松江市：北田川、安来市：伯太川〕 水位表示板の整備〔意宇川〕 松江市／河川カメラの整備
	H31年度予定	島根県／河川監視カメラの整備〔松江市：意宇川、安来市：伯太川〕
取組機関	島根県、（松江市、安来市）	

水位表示板の整備（神納橋観測所）

項　目	６．水害リスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	
内　容	H29年度取組	―
	H30年度取組	島根県／危機管理型水位計の整備〔松江市：北田川、安来市：伯太川〕 水位表示板の整備〔意宇川〕 松江市／河川カメラの整備
	H31年度予定	島根県河川監視カメラの整備〔松江市：意宇川、安来市：伯太川〕
取組機関	島根県、（松江市、安来市）	

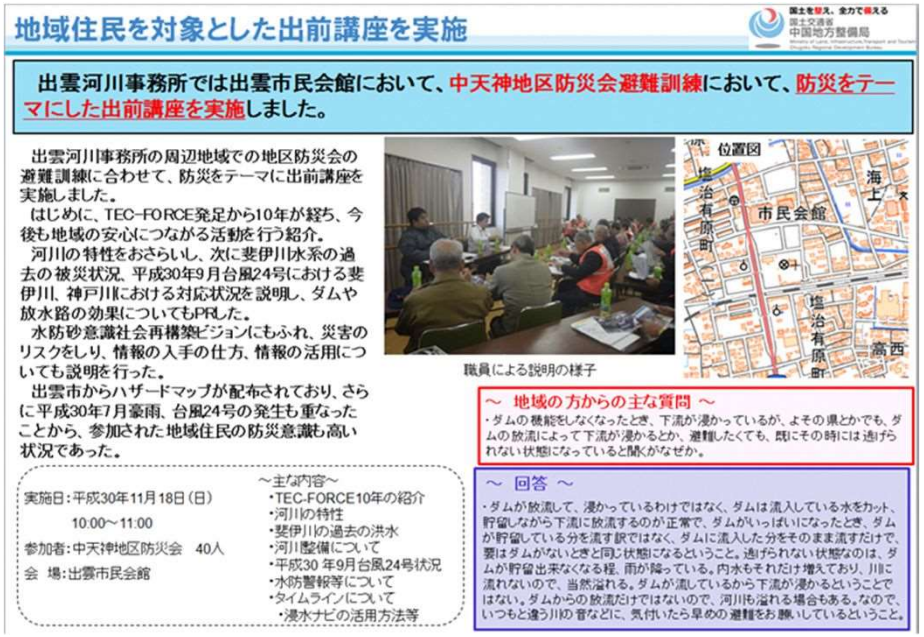
河川カメラの整備（松江市）

【河川監視カメラの整備（意宇川出雲郷橋上流、神納橋）】

【河川監視カメラの整備（向島川）】

項　目	7．住民の水防災意識の向上に資する出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	
内　容	H29年度取組	各市広報紙、新聞広報（考える県政）、防災出前講座、水防技術講習会
	H30年度取組	出前講座の実施、島大附属小での授業（松江市） 出前講座、研修会を実施（出雲河川事務所、松江地方気象台、安来市、島根県） 新聞広報（考える県政）による情報発信（島根県）
	H31年度予定	出前講座の実施、意宇川防災訓練の実施（松江市） 出前講座、研修会を実施（出雲河川事務所、松江地方気象台、安来市、島根県） 新聞広報（考える県政）による情報発信（島根県）
取組機関	松江市、安来市、出雲河川事務所、松江地方気象台、島根県	

防災出前講座（出雲市中天神地区）（出雲河川事務所）（H30.11.18）



防災出前講座（出雲市大津地区）（出雲河川事務所）(H30.7.24)

項　目	７．住民の水防災意識の向上に資する出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	
内　容	H29年度取組	各市広報紙、新聞広報（考える県政）、防災出前講座、水防技術講習会
	H30年度取組	出前講座の実施、島大附属小での授業（松江市） 出前講座、研修会を実施（出雲河川事務所、松江地方気象台、安来市、島根県） 新聞広報（考える県政）による情報発信（島根県）
	H31年度予定	出前講座の実施、意宇川防災訓練の実施（松江市） 出前講座、研修会を実施（出雲河川事務所、松江地方気象台、安来市、島根県） 新聞広報（考える県政）による情報発信（島根県）
取組機関	松江市、安来市、出雲河川事務所、松江地方気象台、島根県	

島大付属小学校での授業（松江市）

安来市防災出前講座、地域研修会（安来市）
伯太町安田地区防災研修会（参加者約100名）

項　目	７．住民の水防災意識の向上に資する出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	
内　容	H29年度取組	各市広報紙、新聞広報（考える県政）、防災出前講座、水防技術講習会
	H30年度取組	出前講座の実施、島大附属小での授業（松江市） 出前講座、研修会を実施（出雲河川事務所、松江地方気象台、安来市、島根県） 新聞広報（考える県政）による情報発信（島根県）
	H31年度予定	出前講座の実施、意宇川防災訓練の実施（松江市） 出前講座、研修会を実施（出雲河川事務所、松江地方気象台、安来市、島根県） 新聞広報（考える県政）による情報発信（島根県）
取組機関	松江市、安来市、出雲河川事務所、松江地方気象台、島根県	

学校や地域での防災知識の普及（松江地方気象台）

項　目	７．住民の水防災意識の向上に資する出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	
内　容	H29年度取組	各市広報紙、新聞広報（考える県政）、防災出前講座、水防技術講習会
	H30年度取組	出前講座の実施、島大附属小での授業（松江市） 出前講座、研修会を実施（出雲河川事務所、松江地方気象台、安来市、島根県） 新聞広報（考える県政）による情報発信（島根県）
	H31年度予定	出前講座の実施、意宇川防災訓練の実施（松江市） 出前講座、研修会を実施（出雲河川事務所、松江地方気象台、安来市、島根県） 新聞広報（考える県政）による情報発信（島根県）
取組機関	松江市、安来市、出雲河川事務所、松江地方気象台、島根県	

防災研修会の実施（島根県）

日　時　平成３０年５月２５日(金)１３：１５～１６：１５
場　所　島根県建設技術センター　２階研修室
内　容　水防法の概要（河川課）
　　平成３０年度島根県水防計画（河川課）
　　島根県の気象と防災気象情報の利活用（松江地方気象台）

新聞広報（考える県政）による情報発信（島根県）

平成３０年６月２３日(土)　考える県政（新聞広告）

項　目	７．住民の水防災意識の向上に資する出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	
内　容	H29年度取組	各市広報紙、新聞広報（考える県政）、防災出前講座、水防技術講習会
	H30年度取組	出前講座の実施、島大附属小での授業（松江市） 出前講座、研修会を実施（出雲河川事務所、松江地方気象台、安来市、島根県） 新聞広報（考える県政）による情報発信（島根県）
	H31年度予定	出前講座の実施、意宇川防災訓練の実施（松江市） 出前講座、研修会を実施（出雲河川事務所、松江地方気象台、安来市、島根県） 新聞広報（考える県政）による情報発信（島根県）
取組機関	松江市、安来市、出雲河川事務所、松江地方気象台、島根県	

広報紙【ダム機能の情報発信】

■洪水時のダムの働きや避難の必要性等について、布部ダム下流域の住民に分かりやすいチラシで周知

回覧

ダムのはたらきについて
～洪水調節を主として～

平成31年3月（発行：島根県土木部河川課・松江県土整備事務所広瀬土木事業所）

【はじめに】

平成30年7月に発生した西日本豪雨では、愛媛県や、広島県などで、ダムの計画規模を上回る降雨があり、異常洪水時防災操作（ただし書き）を実施したダムが複数ありました。このため、ダム下流域では河川の氾濫が生じ、大きな被害が発生しました。

一方、住民の方々の避難については、ダムがあるから安全という思いがあり、避難が遅れたのではないかとの指摘をする報道もありました。

このようなことから、ダム下流の皆さんにダムの働きについて知っていただき、ダムはどのような雨にも対応できるものではないということを理解していただきたいと思い、この資料を作成いたしました。

この資料をご一読いただくとともに、降雨時には市町からの避難勧告等の防災情報に注意をしていただき、早めの避難を心がけていただきますよう、お願いいたします。

洪水に対してダムは万能ではありません！！

西日本豪雨の状況　左、中央：愛媛県肱川鹿野川ダム下流大洲市の状況　右：同、野村ダム下流西予市野村町の状況
（国土交通省四国地方整備局「野村ダム・鹿野川ダムの操作に関わる情報提供等に関する検証等の場」資料より

【ダムの基本事項】

○ダムの種類

1. 材料や構造の違いによる分類

ダムは、その構成材料及び構造の違いにより分類されます。主な種類は以下のものがあります。

①重力式コンクリートダム・・・コンクリートで造られ、堤体の自重により貯水池の水圧を支える。最も一般的なダム形式。（布部ダム、山佐ダム、八戸ダムなど）

②フィルダム・・・石や土を組み合わせて造るダムで、比較的岩盤の弱い所でも造ることができる。（清滝ダムなど）

③アーチ式コンクリートダム・・上流へアーチ状に張り出した構造のコンクリートダム。アーチを利用して水圧などの外力を両岸で支える。（三成ダムなど）

2. 洪水調節方法による分類

ダムは、洪水調節方式により分類され、以下のものがあります。

①ゲートダム・・・洪水調節を洪水吐ゲートの操作により行うダム。ゲート操作用の機器が必要となるが、ダム湖の規模を小さくできる。（布部ダム、山佐ダム、八戸ダムなど）

②ゲートレスダム・・・洪水調節を堤体に開いた穴（オリフィス、クレストの切り欠き）等により自然に行う、人為的操作によらないダム。管理の簡素化が可能で、近年建設されたダムでは主流となっている。（三瓶ダム、第二浜田ダムなど）

○ダムの種類の事例

布部ダム（重力式コンクリートダム、ゲートダム）

三瓶ダム（重力式コンクリートダム、ゲートレスダム）

【ダムによる洪水調節のしくみ】

ダムによる洪水調節は、洪水時に川からあふれる水の量をダムで貯めるもので、下流河川が安全に流せる量を見込んでダムから放流します。

つまり、ダムでは洪水の全部を貯めるのではなく、洪水の最中でもダムから放流しています。

洪水調節とはどのように行われるのでしょうか。以下に説明します。

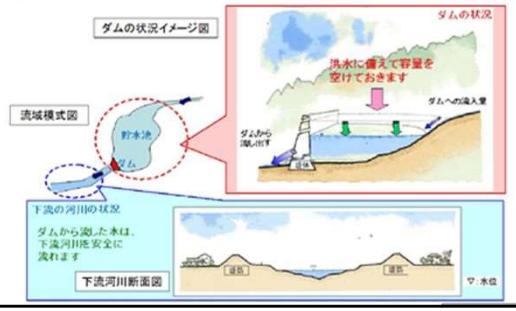
○ダムによる洪水調節の流れ（一般的なゲートダムの例）

①洪水に備える

台風や大雨による洪水の起きやすい季節には洪水に備え、前もってダムの貯水位を下げ、貯水できる容量を空けておきます。

洪水時以外はこの貯水位を保つよう管理しています。

（※布部ダムでは6/16～9/30の洪水期には水位を非洪水期に比べ約6m程度低下させます。
※山佐ダムは一般のゲートダムと洪水調節方式が異なるため、年間を通じて運用水位は変わりません。）



項　目	８．水害リスクの高い重要水防区域、危険な箇所の共同点検等	
内　容	H29年度取組	出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、地元・消防団と確認（松江市、安来市、各消防団等）
	H30年度取組	出水期前に連絡調整会議を開催し、「危険な箇所」「重要水防区域」「水防資機材」の共同点検を実施。「水防資機材」の提供方法についても確認（島根県、松江市、安来市、各消防団等）
	H31年度予定	出水期前に連絡調整会議を開催し、「危険な箇所」「重要水防区域」「水防資機材」の共同点検を実施。「水防資機材」の提供方法についても確認（島根県、松江市、安来市、各消防団等）
取組機関	松江市、安来市、各消防団等、島根県	

H30 連絡調整会議、共同点検（H30出水期前）

水防資機材の情報共有

項　目	８．水害リスクの高い重要水防区域、危険な箇所の共同点検等	
内　容	H29年度取組	出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、地元・消防団と確認（松江市、安来市、各消防団等）
	H30年度取組	出水期前に連絡調整会議を開催し、「危険な箇所」「重要水防区域」「水防資機材」の共同点検を実施。「水防資機材」の提供方法についても確認（島根県、松江市、安来市、各消防団等）
	H31年度予定	出水期前に連絡調整会議を開催し、「危険な箇所」「重要水防区域」「水防資機材」の共同点検を実施。「水防資機材」の提供方法についても確認（島根県、松江市、安来市、各消防団等）
取組機関	松江市、安来市、各消防団等、島根県	

H30 地元自治会との共同点検（意宇川下流区間(H31年1月)、意宇川上流区間H31年2月）

意宇川（下流区間）

頭首工破損状況

護岸破損状況

項　目	８．水害リスクの高い重要水防区域、危険な箇所の共同点検等	
内　容	H29年度取組	出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、地元・消防団と確認（松江市、安来市、各消防団等）
	H30年度取組	出水期前に連絡調整会議を開催し、「危険な箇所」「重要水防区域」「水防資機材」の共同点検を実施。「水防資機材」の提供方法についても確認（島根県、松江市、安来市、各消防団等）
	H31年度予定	出水期前に連絡調整会議を開催し、「危険な箇所」「重要水防区域」「水防資機材」の共同点検を実施。「水防資機材」の提供方法についても確認（島根県、松江市、安来市、各消防団等）
取組機関	松江市、安来市、各消防団等、島根県	

H30 地元自治会との共同点検（意宇川下流区間(H31年1月)、意宇川上流区間H31年2月）

意宇川（上流区間）

切通部の現況

土砂堆積状況の確認

項　目	８．水害リスクの高い重要水防区域、危険な箇所の共同点検等	
内　容	H29年度取組	出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、地元・消防団と確認（松江市、安来市、各消防団等）
	H30年度取組	出水期前に連絡調整会議を開催し、「危険な箇所」「重要水防区域」「水防資機材」の共同点検を実施。「水防資機材」の提供方法についても確認（島根県、松江市、安来市、各消防団等）
	H31年度予定	出水期前に連絡調整会議を開催し、「危険な箇所」「重要水防区域」「水防資機材」の共同点検を実施。「水防資機材」の提供方法についても確認（島根県、松江市、安来市、各消防団等）
取組機関	松江市、安来市、各消防団等、島根県	

H30 連絡調整会議、共同点検（H30出水期前）

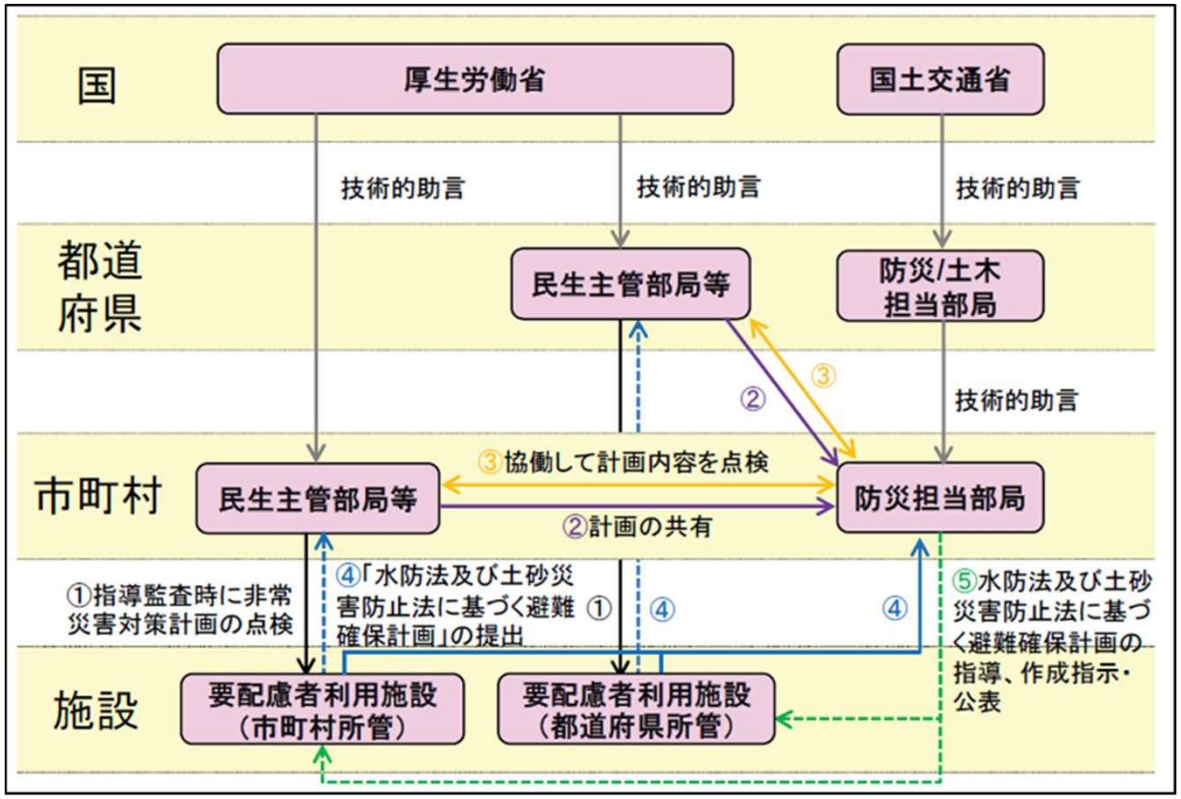
飯梨川（矢田水位計付近）

伯太川（弘鶴橋水位計付近）

水防資機材の情報共有

項　目	１０．要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成及び訓練実施の支援	
内　容	H29年度取組	対象施設の確認及び計画作成支援
	H30年度取組	対象施設に対する説明会の実施、作成支援
	H31年度予定	新規対象施設に対しての計画策定支援（松江市） 施設管理者、職員に対しての防災メール登録の推進（松江市） 対象施設に対する説明会の実施、作成支援（出雲河川事務所）
取組機関	協議会全体	

要配慮者利用施設の避難確保計画作成・点検の流れ



国土交通省HP「◇法改正についての各地方ブロック説明会資料（平成29年6月作成）」より抜粋

項　目	１１．河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	
内　容	H29年度取組	地元、市町村からの情報提供と、それらを踏まえて優先順位を付けて実施した
	H30年度取組	地元、市町村からの情報提供と、それらを踏まえて優先順位を付けて実施した
	H31年度予定	通水を阻害する堆積土砂や立木の河川管理者への情報提供（松江市） 地元、市町村からの情報提供と、それらを踏まえて優先順位を付けて実施する（島根県）
取組機関	松江市、安来市、島根県	

H30 伐採、堆積土砂撤去

意宇川（神納橋水位観測所上下流部）

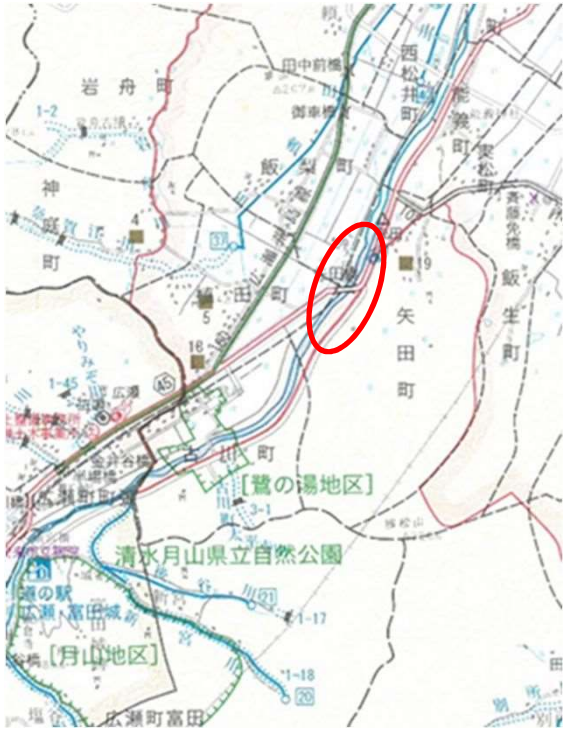
施工前

施工後

項　目	１１．河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	
内　容	H29年度取組	地元、市町村からの情報提供と、それらを踏まえて優先順位を付けて実施した
	H30年度取組	地元、市町村からの情報提供と、それらを踏まえて優先順位を付けて実施した
	H31年度予定	通水を阻害する堆積土砂や立木の河川管理者への情報提供（松江市） 地元、市町村からの情報提供と、それらを踏まえて優先順位を付けて実施する（島根県）
取組機関	松江市、安来市、島根県	

H30 伐採、堆積土砂撤去

飯梨川（矢田橋上流部）



施工前

施工後

項　目	１１．河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	
内　容	H29年度取組	地元、市町村からの情報提供と、それらを踏まえて優先順位を付けて実施した
	H30年度取組	地元、市町村からの情報提供と、それらを踏まえて優先順位を付けて実施した
	H31年度予定	通水を阻害する堆積土砂や立木の河川管理者への情報提供（松江市） 地元、市町村からの情報提供と、それらを踏まえて優先順位を付けて実施する（島根県）
取組機関	松江市、安来市、島根県	

H30 伐採、堆積土砂撤去

伯太川（弘鶴橋上流部）

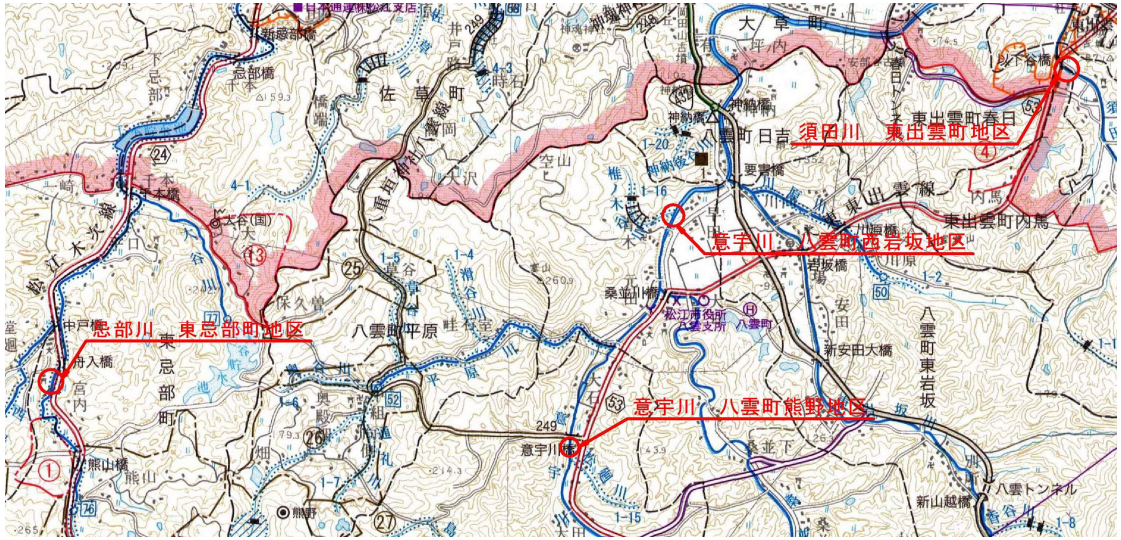
施工前

施工後

項　目	１１．河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	
内　容	H29年度取組	地元、市町村からの情報提供と、それらを踏まえて優先順位を付けて実施した
	H30年度取組	地元、市町村からの情報提供と、それらを踏まえて優先順位を付けて実施した
	H31年度予定	通水を阻害する堆積土砂や立木の河川管理者への情報提供（松江市） 地元、市町村からの情報提供と、それらを踏まえて優先順位を付けて実施する（島根県）
取組機関	松江市、安来市、島根県	

H31　伐採・土砂撤去予定箇所

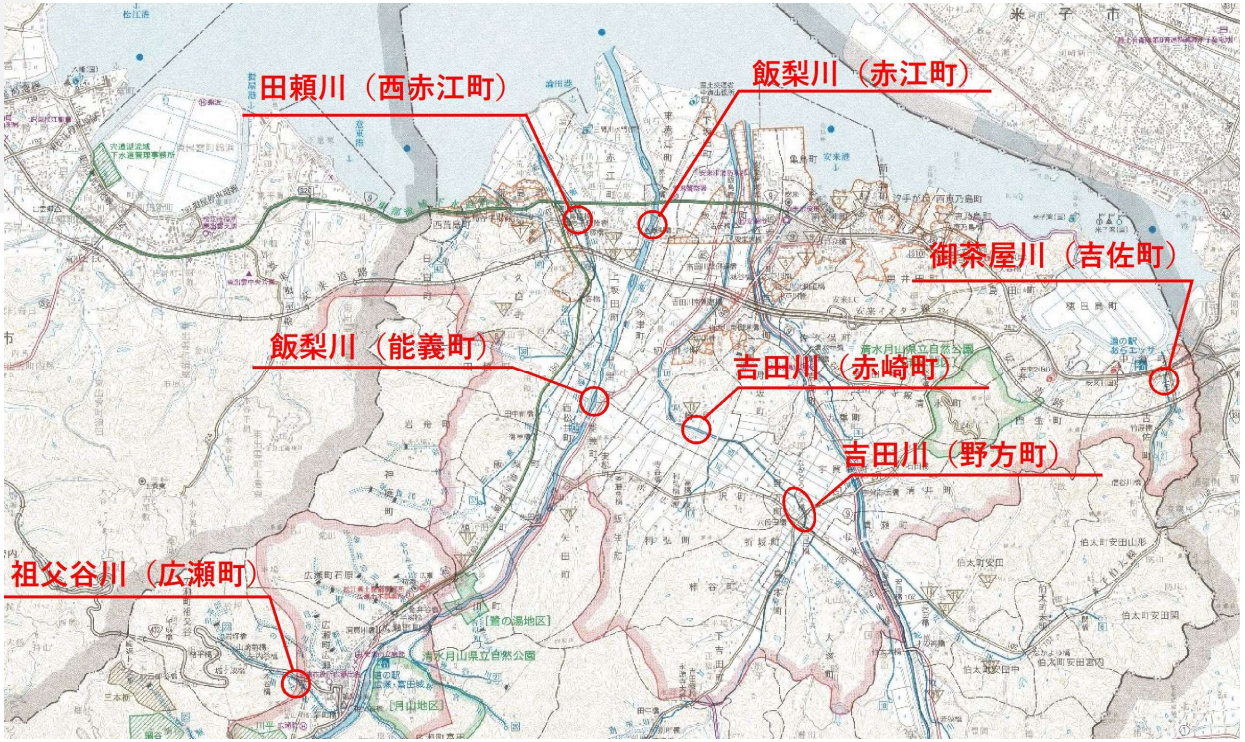
【松江県土整備事務所管内】
・要望箇所　　２４　箇所（３０３百万円）
（内緊急対策　　８　箇所（３８百万円））
・実施見込箇所　（予算編成作業中）
（内緊急対策　　８　箇所（３８百万円））



項　目	１１．河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	
内　容	H29年度取組	地元、市町村からの情報提供と、それらを踏まえて優先順位を付けて実施した
	H30年度取組	地元、市町村からの情報提供と、それらを踏まえて優先順位を付けて実施した
	H31年度予定	通水を阻害する堆積土砂や立木の河川管理者への情報提供（松江市） 地元、市町村からの情報提供と、それらを踏まえて優先順位を付けて実施する（島根県）
取組機関	松江市、安来市、島根県	

H31　伐採・土砂撤去予定箇所

【広瀬土木事業所管内】
・要望箇所　　２１　箇所（１７８百万円）
（内緊急対策　　８　箇所（１０９百万円）
・実施見込箇所　（予算編成作業中）
（内緊急対策　　８　箇所（１０９百万円）



項　目	１２．排水施設、排水資機材等の情報を共有	
内　容	H29年度取組	島根県水防計画、国災害対策計画により排水施設、排水機材の情報共有
	H30年度取組	島根県水防計画、国災害対策計画により排水施設、排水機材の情報共有
	H31年度予定	排水施設現地点検（松江市） 島根県水防計画、国災害対策計画により排水施設、排水機材の情報共有（出雲河川、島根県）
取組機関	松江市、安来市、出雲河川事務所、島根県	

平成３１年度　島根県水防計画抜粋

（１）国土交通省所有機械基地名称及び位置

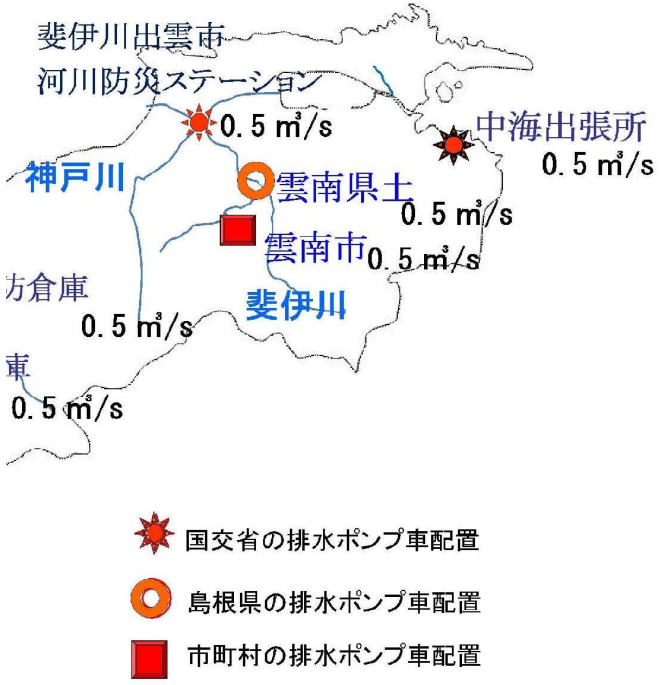
基　地　名	所　在　地	台数	規　　格	車両総重量(kg)
斐伊川出雲市河川防災ステーション	出雲市上塩冶町	１台	排水ポンプ車 0.5 ㎥/ｓ（揚程２０ｍ）機械番号 25-4706	18,070 未満
		１台	照明車２kw×６灯 機械番号 11-4718	6,810
出雲河川事務所中海出張所	安来市東赤江町福井1637	１台	排水ポンプ車 0.5 ㎥/ｓ 機械番号 18-4708	9,030
		１台	照明車２kw×６灯 機械番号 21-4703	7,770

（２）島根県所有機械基地名称及び位置

基　地　名	所　在　地	台数	規　　格	車両総重量(kg)
雲南県土整備事務所	雲南市木次町里方 531-1	１台	排水ポンプ車 0.5 ㎥/ｓ	10,340

（３）市町村所有機械基地名称及び位置

基　地　名	所　在　地	台数	規　　格	車両総重量(kg)
雲南市三刀屋水防格納庫	雲南市三刀屋町三刀屋 1164-4	１台	排水ポンプ車 0.5 ㎥/ｓ	7,660



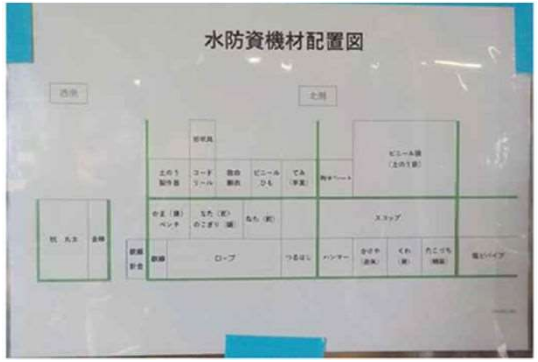
項　目	１２．排水施設、排水資機材等の情報を共有	
内　容	H29年度取組	島根県水防計画、国災害対策計画により排水施設、排水機材の情報共有
	H30年度取組	島根県水防計画、国災害対策計画により排水施設、排水機材の情報共有
	H31年度予定	排水施設現地点検（松江市） 島根県水防計画、国災害対策計画により排水施設、排水機材の情報共有（出雲河川、島根県）
取組機関	松江市、安来市、出雲河川事務所、島根県	

水防倉庫内の整理（適正な備蓄管理、使用時の迅速な資材提供）

【作業前】東津田倉庫

・倉庫移転
・水防倉庫の整理
・不要資材の廃棄
・収納位置の明確化
　　など

【作業後】



項　目	１２．排水施設、排水資機材等の情報を共有	
内　容	H29年度取組	島根県水防計画、国災害対策計画により排水施設、排水機材の情報共有
	H30年度取組	島根県水防計画、国災害対策計画により排水施設、排水機材の情報共有
	H31年度予定	排水施設現地点検（松江市） 島根県水防計画、国災害対策計画により排水施設、排水機材の情報共有（出雲河川、島根県）
取組機関	松江市、安来市、出雲河川事務所、島根県	

水防倉庫内の整理（適正な備蓄管理、使用時の迅速な資材提供）

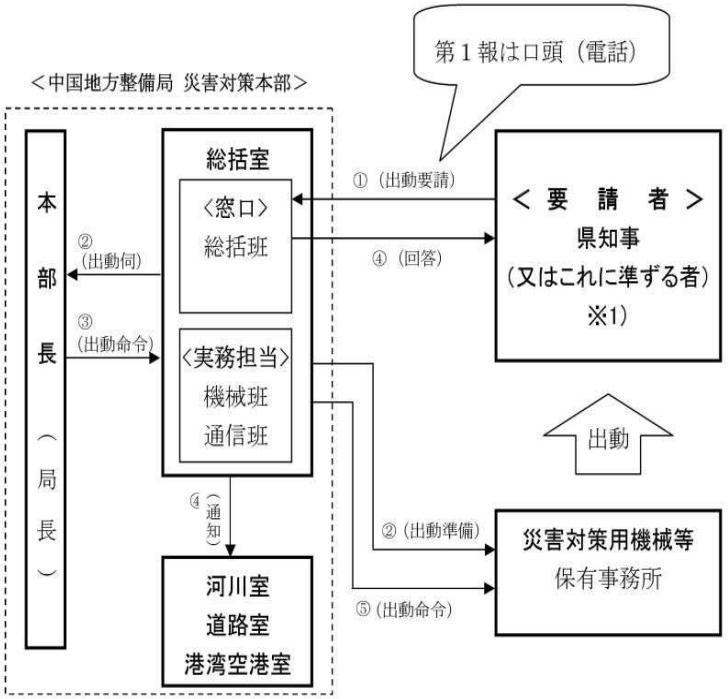
【作業前】堂形倉庫

・倉庫の明示
・水防倉庫の整理
・不要資材の廃棄
・収納位置の明確化
　　など

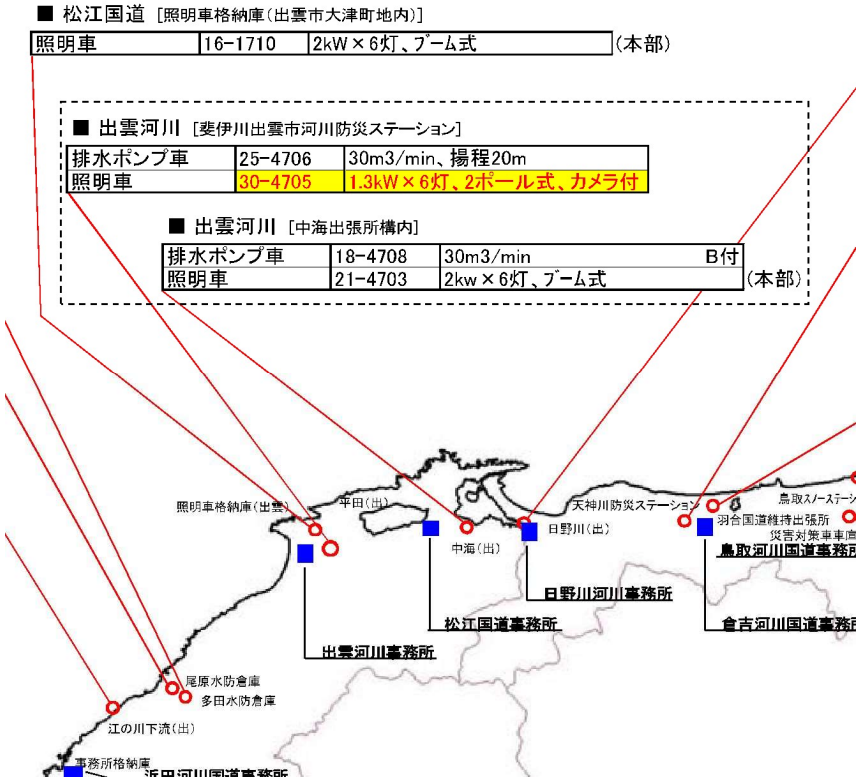
【作業後】

項　目	１２．排水施設、排水資機材等の情報を共有	
内　容	H29年度取組	島根県水防計画、国災害対策計画により排水施設、排水機材の情報共有
	H30年度取組	島根県水防計画、国災害対策計画により排水施設、排水機材の情報共有
	H31年度予定	排水施設現地点検（松江市） 島根県水防計画、国災害対策計画により排水施設、排水機材の情報共有（出雲河川、島根県）
取組機関	松江市、安来市、出雲河川事務所、島根県	

災害対策用機械配貸付要請



平成３１年度　災害対策用機械配置図（中国地方整備局）



項　目	１３．市町村庁舎等の災害拠点施設の自衛水防の推進	
内　容	H29年度取組	浸水想定区域内の現庁舎について、庁舎管理部門へ情報提供を行った（松江市） 浸水想定区域内での調査建替にあたり、非常用電源の屋上設置などを実施（安来市）
	H30年度取組	浸水想定区域内の市庁舎の機能確保のため、耐水化・非常用電源等の必要な対策について、情報共有（松江市） 浸水想定区域内の市庁舎の機能確保のため、必要な対策について関係課と情報共有を行う（安来市）
	H31年度予定	浸水想定区域内の市庁舎の機能確保のため、耐水化・非常用電源等の必要な対策について、情報共有（松江市） 浸水想定区域の情報提供（島根県）
取組機関	松江市、安来市、島根県	

松江市

【現状】
＜松江市立病院（災害拠点病院）＞
・洪水浸水想定区域外
＜松江赤十字病院（災害拠点病院）＞
・洪水浸水想定区域内（斐伊川）
・非常用発電機：浸水想定区域を考慮し、建物内に設置済
・自衛水防組織を創設
＜松江市役所＞
・洪水浸水想定区域内（斐伊川）
・非常用発電機：浸水想定区域を考慮し、本庁舎敷地内に設置済

安来市

【現状】
＜安来市立病院＞
・洪水浸水想定区域外

＜安来市役所＞
・洪水浸水想定区域内（伯太川）
・非常用発電機：非常用電源の屋上設置などの対策を実施

【資料２】

松江圏域県管理河川における減災対策協議会 （各機関における取組内容の詳細及び取組状況）

赤字;H29取組状況
青字;H30取組状況
緑字;H31取組予定

	主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考
				松江市	安来市	出雲河川事務所	松江地方気象台	島根県	
■水害リスク情報等を地域と共有し、命を守るための確実な避難の実現									
1	想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成・周知	意宇川、飯梨川、伯太川	平成31年度末まで					・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図作成・公表し、関係市へ提供。 ・H29～松江市 ・H30～安来市	
			H29取組状況					意宇川の洪水浸水想定区域図作成（H30.5.25　公表予定）	
			H30取組状況					飯梨川・伯太川の洪水浸水想定区域図作成に着手	
			H31取組予定					飯梨川・伯太川の洪水浸水想定区域図作成（R1.6公表予定）	
2	水害ハザードマップの改良・周知	対象流域	平成32年度末まで	・H30年度から検討開始 ・県の洪水浸水想定区域図公表の後に、水害ハザードマップの見直し。 ・ハザードマップポータルサイトやマップonしまねを活用し、住民等へ広く周知。 ・印刷物の各戸、事業所への配布。 ・ハザードマップの見方、利用方法など出前講座等を通じて周知	・H32年度末を目標 ・県の洪水浸水想定区域図公表の後に、水害ハザードマップの見直し。 ・ハザードマップポータルサイトやマップonしまねを活用し、住民等へ広く周知。 ・印刷物の各戸、事業所への配布。 ・ハザードマップの見方、利用方法など出前講座等を通じて周知				
			H29取組状況	既存のハザードマップの見方、利用方法など出前講座を通じて周知した。	H29年度中に防災マップの更新を完了				
			H30取組状況	・水害ハザードマップの見直し ・ハザードマップポータルサイトやマップonしまねを活用し、住民等へ広く周知。	H30.4月各戸配布実施 ハザードマップの活用方法など出前講座等を通じて周知				
			H31取組予定	ハザードマップ（防災ガイドブック）全戸配布予定	・県の想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図に基づき、ハザードマップ更新についての検討を予定				

【資料２】

松江圏域県管理河川における減災対策協議会（各機関における取組内容の詳細及び取組状況）

赤字;H29取組状況
青字;H30取組状況
緑字;H31取組予定

	主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考
				松江市	安来市	出雲河川事務所	松江地方気象台	島根県	
3	避難勧告等の発令に着目した水害対応タイムラインの策定	意宇川、 飯梨川、伯太川	平成32年度末まで	・既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成 ・実洪水、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し（H30より実施） ・タイムラインに基づく避難訓練の実施	・既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成 ・実洪水、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し ・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直し（H31より実施） ・タイムラインに基づく訓練実施の検討	・水害対応タイムライン作成時において、相談があれば技術的助言を行う。	・水害対応タイムラインの確認・調整。水害対応タイムラインにおいて防災気象情報を有効に活用する観点から助言	・既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成 ・実洪水、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し ・設定水位の検証、見直し ・タイムラインに基づく訓練実施の支援	
			H29取組状況	既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成の検討を開始した。	—	—	・水害対応タイムラインの確認・調整。水害対応タイムラインにおいて防災気象情報を有効に活用する観点から助言	洪水予報河川・水位周知河川で水害対応タイムラインを作成に着手	
			H30取組状況	水害タイムライン作成のための、各関係機関との調整	—	水害タイムライン作成時において要請があれば、技術的助言	・水害対応タイムライン作成に係る助言の依頼なし	出水期前に連絡調整会議を開催し、関係機関で水害対応タイムライン、チェックリスト等の情報を共有。 実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直し。	
			H31取組予定	・タイムラインの作成と検証	・タイムラインの検証	水害タイムライン作成時において要請があれば、技術的助言	・水害対応タイムラインの確認・調整。水害対応タイムラインにおいて防災気象情報を有効に活用する観点から助言	出水期前に連絡調整会議を開催し、関係機関で水害対応タイムライン、チェックリスト等の情報を共有。 実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直し。	

【資料２】

松江圏域県管理河川における減災対策協議会（各機関における取組内容の詳細及び取組状況）

赤字;H29取組状況
青字;H30取組状況
緑字;H31取組予定

	主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考
				松江市	安来市	出雲河川事務所	松江地方気象台	島根県	
4	洪水時における河川管理者からの情報提供（ホットラインの定着）	意宇川、飯梨川、伯太川	平成28年度から継続実施	・出水期前の情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る	・出水期前の情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る		・出水期前の情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る	・出水期前の情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る	
			H29取組状況	・出水期前の情報伝達訓練を実施し連絡体制を確認した。	洪水対応演習にあわせ、ホットライン連絡先の確認を実施（H29.5月）		—	情報伝達演習の実施【H29.4.28】	
			H30取組状況	・情報伝達演習でホットラインを実施 ・ホットラインを含めた情報伝達演習（4月25日実施） ・実洪水においてホットラインを実施（9月30日台風24号）	・情報伝達演習でホットラインを実施 ・ホットラインを含めた情報伝達演習（4月25日実施） ・実洪水においてホットラインを実施（9月30日台風24号）		・6月20日実施の防災訓練においてホットラインを実施	・情報伝達演習でホットラインを実施 ・ホットラインを含めた情報伝達演習（4月25日実施） ・防災訓練（6月20日）においてホットラインを実施 ・実洪水においてホットラインを実施（9月30日台風24号）	
			H31取組予定	・出水期前の情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る ・ホットラインを含めた情報伝達演習	・出水期前の情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る ・ホットラインを含めた情報伝達演習		・出水期前の情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る ・ホットラインを含めた情報伝達演習	・出水期前の情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る ・ホットラインを含めた情報伝達演習	

【資料２】

松江圏域県管理河川における減災対策協議会（各機関における取組内容の詳細及び取組状況）

赤字;H29取組状況
青字;H30取組状況
緑字;H31取組予定

	主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考
				松江市	安来市	出雲河川事務所	松江地方気象台	島根県	
5	避難勧告等の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実	圏域	平成32年度末まで				・防災気象情報の改善 ○危険度を色分けした時系列 ○警報級の可能性の提供 ○危険度分布（メッシュ情報）の充実	・次期水防情報システムの開発 ○操作法を改善し迅速な情報提供 ○観測データの異常値チェック機能 ○ｽﾏｰﾄﾌｫﾝに対応した情報提供 ○訓練シナリオの充実 ・雨量計、水位計等の更新	
			H29取組状況				・平成29年度出水期より改善された防災気象情報を提供開始（完）	・次期水防情報システム開発に着手	
			H30取組状況				・平成30年5月30日より松江市において大雨警報、注意報（浸水）について新基準での運用開始 ・平成30年6月20日より降水短時間予報をこれまでの6時間先までから15時間先まで延長 ・平成31年3月14日より、台風強度予報をこれまでの3日間から5日間先まで延長	・次期水防情報システム開発	
			H31取組予定				・大雨警報・注意報（浸水害）洪水警報・注意報等の基準についての評価及び検証を行い、必要に応じて基準の見直しを行う。	・次期水防情報システム運用開始 ・雨量計、水位計等の更新に着手	

【資料２】

松江圏域県管理河川における減災対策協議会（各機関における取組内容の詳細及び取組状況）

赤字;H29取組状況
青字;H30取組状況
緑字;H31取組予定

	主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考
				松江市	安来市	出雲河川事務所	松江地方気象台	島根県	
6	水害リスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	—	平成30年度から順次実施					・モデル河川に簡易水位計を整備し、効果を検証した上で順次拡大をは図る。 ○モデル河川・・・北田川	
			H29取組状況					—	
			H30取組状況	河川監視カメラの整備（意宇川：八雲町地内2箇所、東出雲町地内1箇所）				・簡易水位計の整備 松江市：北田川 安来市：伯太川 ・水位表示板整備 松江市：意宇川	
			H31取組予定					・河川監視カメラの整備 松江市：意宇川 安来市：伯太川　他	

【資料２】

松江圏域県管理河川における減災対策協議会（各機関における取組内容の詳細及び取組状況）

赤字;H29取組状況
青字;H30取組状況
緑字;H31取組予定

	主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考
				松江市	安来市	出雲河川事務所	松江地方気象台	島根県	
7	住民の水防災意識の向上に資する出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及や訓練	圏域	毎年継続実施	・住民自らが考え、行動できる情報入手方法の周知 ・出前講座による防災知識の普及や自らの避難行動につながる訓練実施 ・国の減災対策協議会に併せ小・中学生に対する防災教育の実施	・出前講座等により水防情報の入手、活用方法等について周知 ・広報紙を活用した防災情報発信	・出前講座による水防情報の入手、活用方法等の普及について、引き続き取り組む。	・出前講座等により防災気象情報の入手、活用方法等について周知。また、協議会として防災教育を実施する際には講師派遣、資料提供に対応。	・出前講座により水防情報の入手、活用方法等について周知 ・広報紙を活用した防災情報発信 ・避難行動に資する各種情報提供の検討	
			H29取組状況	・出前講座による防災知識の普及や自らの避難行動につながる訓練を実施した。 ・国の減災対策協議会に併せ、本庄小学校・中学校で防災教育を行った。	出前講座１４回実施	・出雲市で行われた防災訓練に参加 ・パネル展示を行い、過去の災害やその対策等（被災現場の情報収集ツール、小型衛星装置を使った映像伝送のデモ）を掲示 ・防災出前講座の実施 【29.7.2】松江市玉湯町湯町 【29.10.1】出雲市大津地区	・安来市立伯太中学校において、地震に関する知識の普及を実施した。 【H29.5.25】 ・松江市史講座において、気象に関する知識の普及を実施した。 【29.10.28】 ・松江市防災会議において、気象に関する知識の普及を実施した。 【29.11.1】 ・JRC秋季協議会において、気象庁ワークショップを開催した。 【29.11.13】	・新聞広報（考える県政）【H29.6.18】 ・水防技術講習会【H30.3.18】	
			H30取組状況	・住民自らが考え、行動できる情報入手方法の周知 ・出前講座による防災知識の普及 【（H30年度開催回数：１２６回）】 ・島大附属小での授業	出前講座、広報誌を活用した防災情報発信を行う 出前講座：25回 地域研修会参加：2回 （12/20現在）	・雲南市下熊谷地区出前講座 ・出雲市立北陽小学校出前講座 ・出雲市大津地区出前講座 ・出雲市中天神地区防災会出前講座 ・出雲市北陽小学校出前講座	【30.6.4】 ・松江地区防災関係機関連絡会議において、気象に関する知識の普及を実施した。 【30.6.27.】 島根県砂防ボランティア協会総会において、気象、地震に関する知識の普及を実施した。 【30.10.23】 ・津田地区民生委員研修会において、気象に関する知識の普及を実施した。 【30.10.29】 島根県建設技術セミナーにおいて、気象に関する知識の普及を実施した。 【30.11.4】 ・松江市環境フェスティバルにおいて、気候変動に関する知識の普及を実施した。 【30.11.13】 ・安来市立伯太中学校において、土砂災害、地震に関する知識の普及を実施した。	・新聞広報、防災研修実施	
			H31取組予定	出前講座の実施 意宇川水防訓練の実施	・出前講座、広報誌を活用した防災情報発信を行う	要請により防災訓練、出前講座等の実施	・出前講座等	・新聞広報（考える県政）、出前講座等	

【資料２】

松江圏域県管理河川における減災対策協議会（各機関における取組内容の詳細及び取組状況）

赤字;H29取組状況
青字;H30取組状況
緑字;H31取組予定

	主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考
				松江市	安来市	出雲河川事務所	松江地方気象台	島根県	
8	水害リスクの高い重要水防区域、危険な箇所の共同点検等	意宇川、 飯梨川、伯太川　他	平成30年度から	・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防団等と共同点検 ・危険箇所における避難勧告等の判断に関する研修への参加 ・河川管理者と協議し、出水時のパトロール重点範囲と体制の整備	・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防団等と共同点検 ・危険箇所における避難勧告等の判断に関する研修への参加			・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防団等と共同点検 ・危険箇所における避難勧告等の判断に関する研修の開催	
			H29取組状況	・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、市、地元・消防団と確認した。	河川管理者・市・消防本部・消防団等と河川危険箇所の点検を実施（H29.5月）			—	
			H30取組状況	・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・消防署・警察署・消防団等と共同点検 （6月3日、6月12日実施）	河川管理者・市・消防本部・消防団等と河川危険箇所の点検を実施（H30.6月）			・出水期前に連絡調整会議を開催し、「危険な箇所」「重要水防区域」「水防資機材」の共同点検を実施。「水防資機材」の提供方法についても確認。 ・地元自治会との共同点検を実施し、危険個所等の情報を共有	
			H31取組予定	・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防団等と共同点検	・出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防団等と共同点検			・出水期前に連絡調整会議を開催し、「危険な箇所」「重要水防区域」「水防資機材」の共同点検を実施。「水防資機材」の提供方法についても確認	
9	水害危険性の周知促進	—	平成32年度から	・県の情報提供後、浸水実績等の周知検討	・県の情報提供後、浸水実績等の周知検討			・過去の浸水実績や簡易な方法を活用した浸水想定区域を関係市へ提供。 ・役場等に係る河川を中心に対象河川を調整	
			H29取組状況	・県の情報提供後、浸水実績等の周知の検討	—			—	
			H30取組状況	・県の情報提供後、浸水実績等の周知の検討	—			簡易な方法を活用した浸水想定区域を検証	
			H31取組予定	・県の情報提供後、浸水実績等の周知の検討	・県の情報提供後、浸水実績等の周知の検討			—	

【資料２】

松江圏域県管理河川における減災対策協議会（各機関における取組内容の詳細及び取組状況）

赤字;H29取組状況
青字;H30取組状況
緑字;H31取組予定

	主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考
				松江市	安来市	出雲河川事務所	松江地方気象台	島根県	
■要配慮者利用施設における確実な避難									
10	要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成及び訓練実施の支援	圏域	平成28年度から継続実施	・県管理河川の洪水浸水想定区域図公表後、要配慮者利用者施設の見直しを実施。 ・対象施設に対し、出前講座の実施や計画策定支援の説明会を実施。 ・施設管理者、職員に対しての防災メール登録の推進 ・訓練の企画、実施の支援	・県管理河川の洪水浸水想定区域図公表後、要配慮者利用者施設の見直しを実施。 ・避難確保計画策定の支援 ・避難訓練実施の支援	・要配慮者利用施設の管理者が作成した避難確保計画について、自治体担当者から相談があれば技術的な助言を行う。	・平成28年度施設管理者向け説明会の開催 ・避難確保計画において防災気象情報を有効に活用する観点から助言	・平成28年度施設管理者向け説明会の開催 ・モデル施設で作成する避難確保計画を協議会の場で共有 ・市町村に対し、計画策定の支援方法等に関する説明会を開催 ・訓練実施の支援	
			H29取組状況	県管理河川の洪水浸水想定区域図を基に、要配慮者利用施設の洗い出しを行った。	（H30.3月末現在） 対象施設　　54施設 作成済施設　　50施設	―	・（説明会及び）避難確保計画作成に係る助言の依頼なし。	―	
			H30取組状況	・対象施設に対しての計画策定支援の説明会の実施（8月31日実施）【対象施設137　作成提出済施設105(H31.3.31現在）】 ・施設管理者、職員に対しての防災メール登録の推進	・計画を策定し、避難訓練等へ繋げてもらうことが重要なため、多くの施設で策定している火災に対する避難計画などをベースに、洪水や土砂災害に対する備えを盛り込んでもらうよう指導。 ・対象施設への出前講座等を通じて、日頃からの備えや避難についての助言を行っている。 ・対象施設数：72施設 内策定済 58施設 ・避難訓練実施施設：27施設 ・相談件数：12件	出雲市要配慮者利用施設の管理者向け説明会実施	・（説明会及び）避難確保計画作成に係る助言の依頼なし。	市町村の要請に応じて技術的な支援を行う	
			H31取組予定	・計画未提出施設に対する再周知と策定支援 ・施設管理者、職員に対しての防災メール登録の推進	・計画未提出施設に対する再周知と策定支援	計画作成に際して相談があれば助言を行う。	・（説明会及び）避難確保計画作成に協力する。	市町村の要請に応じて技術的な支援を行う	

【資料２】

松江圏域県管理河川における減災対策協議会（各機関における取組内容の詳細及び取組状況）

赤字;H29取組状況
青字;H30取組状況
緑字;H31取組予定

	主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考
				松江市	安来市	出雲河川事務所	松江地方気象台	島根県	
■被災すると社会経済に大きな影響を与える施設や基盤の保全を図る									
11	河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	圏域	毎年継続実施	・通水を阻害する堆積土砂や立木の河川管理者への情報提供	・通水を阻害する堆積土砂や立木の河川管理者への情報提供			・河川整備状況を共有 ・河川改修、水門、排水施設の長寿命化について計画的に実施 ・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について関係市と調整し優先箇所を定めて順次実施	
			H29取組状況	松江市都市整備部を通じて、堆積土砂や立木の情報提供、撤去の要請を行った。	土木建設課から情報提供			・河道掘削、立木伐採については、地元、市町村の要望を踏まえて優先箇所について実施	
			H30取組状況	・通水を阻害する堆積土砂や立木の河川管理者への情報提供	土木建設課から情報提供			・河道掘削、立木伐採については、地元、市町村の要望を踏まえて優先箇所について実施。	
			H31取組予定	・通水を阻害する堆積土砂や立木の河川管理者への情報提供	・通水を阻害する堆積土砂や立木の河川管理者への情報提供 （土木建設課対応）			・河道掘削、立木伐採については、地元、市町村の要望を踏まえて優先箇所について実施	

【資料２】

松江圏域県管理河川における減災対策協議会（各機関における取組内容の詳細及び取組状況）

赤字;H29取組状況
青字;H30取組状況
緑字;H31取組予定

	主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考
				松江市	安来市	出雲河川事務所	松江地方気象台	島根県	
12	排水施設、排水資機材等の情報を共有	圏域	毎年継続実施	・排水施設、排水資機材等の情報の共有 ・河川管理施設、河川占用施設の適正な管理と点検	・排水施設、排水資機材等の情報の共有 ・河川管理施設、河川占用施設の適正な管理と点検	・水防連絡会等により、排水施設、排水資機材等の情報の共有を行う。		・排水施設、排水資機材等の情報の共有 ・長期にわたり浸水が継続し重要施設（市町村庁舎等）が存する地域において排水計画を作成 ・河川管理施設、河川占用施設の適正な管理と点検	
			H29取組状況	・排水施設、排水資機材等の情報の共有を行った。	県水防計画により排水施設、排水機材の情報を共有	・平成29年度災害対策計画により排水施設、排水機材の情報共有		・平成29年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有	
			H30取組状況	・排水施設、排水資機材等の情報の共有 ・河川管理施設、河川占用施設の適正な管理と点検	県水防計画により排水施設、排水機材の情報を共有	・平成30年度災害対策計画により排水施設、排水機材の情報共有		・平成30年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有	
			H31取組予定	排水施設現地点検	・県水防計画により排水施設、排水機材の情報を共有	・平成31年度災害対策計画により排水施設、排水機材の情報共有予定		・平成31年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有	
13	市町村庁舎等の災害拠点施設の自衛水防の推進	圏域	平成29年度から継続実施	・浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対する情報伝達体制・方法の情報共有 ・浸水想定区域内の市庁舎の機能確保のため、耐水化・非常用電源等の必要な対策について、情報共有	・浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対する情報伝達体制・方法の情報共有 ・浸水想定区域内の市庁舎の機能確保のため、耐水化・非常用電源等の必要な対策について、情報共有			・浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に対する情報伝達体制・方法の情報共有 ・浸水想定区域内の市庁舎の機能確保のため、耐水化・非常用電源等の必要な対策について、情報共有	
			H29取組状況	浸水想定区域内の現庁舎について、庁舎管理部門へ情報提供を行った。	浸水想定区域内での庁舎建替にあたり、庁舎管理部門と協議のうえ非常用電源の屋上設置などの対策を実施			―	
			H30取組状況	・浸水想定区域内の市庁舎の機能確保のため、耐水化・非常用電源等の必要な対策について、情報共有	浸水想定区域内の庁舎の機能確保のため、必要な対策について関係課と情報共有を行う。			―	
			H31取組予定	・浸水想定区域内の市庁舎の機能確保のため、耐水化・非常用電源等の必要な対策について、情報共有	・浸水想定区域内の庁舎の機能確保のため、必要な対策について関係課と情報共有を行う			―	